2-666-583-**07**(1)

SONY®

デジタル
フォトプリンター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SnapLab

UP-CR10L

MEMORY STICK™

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

↓

❶ スタンバイ状態にする。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

第 1 章　概要

第 2 章　準備

第 3 章　設定

第 4 章　操作

付録

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

禁止

上記のような場所に設置すると火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれ禁止

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

表示された電源電圧で使用する

指示

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

指示

付属の電源コードを使用する

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが３極の場合
  付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが２極の場合
  付属の３極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。

指示

移動時にはコード類をはずす

電源コードや接続コードは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。
移動時には、コード類をはずしてください。

手を挟まれないよう注意

表示パネルを閉めるときに指を挟まないように注意する

表示パネルを閉めるときは、表示パネルと本体の間に指を挟まれないように注意してください。

高温

リボンカートリッジの装着口の内部に手を入れない

中にあるサーマルヘッドが熱くなっている場合があり、やけどの原因となることがあります。

指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされたプリント紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。
プリント紙の排出口はのぞかないでください。

禁止

メモリカードスロットをのぞかない

メモリカードスロットをのぞき込むと、排出されたメモリカードで失明やけがの原因となることがあります。

禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指示

プリント紙は縦置きにする

横に置くと回転して落下し､けがの原因となることがあります。

禁止

表示パネルに無理な力をかけない

表示パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

禁止

排紙トレイは、人通りの妨げになる場所には設置しない

設置された排紙トレイが通路に飛び出していると、通行人がぶつかってけがをするおそれがあります。

概要

第 1 章

こんなことができます

本機は、デジタルカメラなどで撮影した画像データをメモリーカードから読み込んでプリントします。
また、パソコンからもプリントできます。
本機には次の特長があります。

多彩なプリントサービス

通常のプリントに加え、分割プリントやフレームつきプリント、インデックスプリントができます。
また、トリミングや色の調整など、撮影した画像を編集してプリントできます。
オーダー番号を透かし状にプリントでき、プリントの仕分けが容易になります。

選べる操作モード

本機を使用するシチュエーションに合わせて、フル機能モード、簡易モード、標準モードの 3 つの操作モードが選べます。

各種のメモリーカードに対応

デジタルカメラ用の主要な記憶メディアである、"メモリースティック"や xD- ピクチャーカード、SD カード、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、スマートメディアに対応しています。

高速で高画質なプリント

新開発の昇華熱転写方式のプリントエンジンにより、保存性に優れた美しい画像がすばやくプリントできます。

タッチパネルで簡単操作

8 インチタッチパネル式ディスプレイを採用し、画面に触れるだけで簡単に操作できます。
ペーパーホルダー、リボンカートリッジ方式を採用し、プリント紙やリボンの交換も簡単です。

オリジナルデータでカスタマイズ

プロモーション用の画像やフレームデータの入ったメモリーカード（拡張コンパクトフラッシュ）を拡張スロットにセットしておけば、スクリーンセーバーの表示や、フレームを合成したプリントができます。1) スクリーンセーバーやフレームデータにはオリジナルの画像が使えます。

Bluetooth® 通信を使ってワイヤレスでプリント

別売りの Bluetooth USB アダプター 2) を使用すると、携帯電話などの Bluetooth 対応機器からワイヤレスで画像を転送してプリントできます。Bluetooth 通信を使って画像を転送した場合も、メモリーカードから読み込んでプリントする場合と同様の多彩なプリントサービスが利用できます。
なお、この機能を使う場合は拡張コンパクトフラッシュが必要です。

一体型のコンパクトなボディ

ディスプレイとプリンターが一体になったコンパクトなボディなので、店頭のカウンターなど、限られたスペースにも設置できます。
また、ディスプレイは操作スタイルに合わせて 8 段階に角度を調整できます。

1) 市販のコンパクトフラッシュやマイクロドライブが必要です。
2) ご使用になれる Bluetooth USB アダプターについては、「仕様」の「別売り品」（66 ページ）をご覧ください。なお、ご使用の国・地域によっては、販売しておりません。お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

付属の説明書について

本機には、以下の説明書が付属しています。

取扱説明書（本書）

取扱説明書は、本機を購入された方を対象に、以下のことを説明しています。

- 本機の設置方法
- 環境設定の方法
- メモリーカードに記録された画像をプリントする方法
- 困ったときの対処方法

簡単操作ガイド（PDF）

簡単操作ガイドは、次の項目の概要について説明しています。必要な箇所だけをプリントアウトし、店頭に掲示するなどしてご使用ください。

- フル機能モードでのプリント方法（本機を利用するお客様向け）
- 簡易モードでのプリント方法（本機を利用するお客様向け）
- 本機のメンテナンス方法（店員の方向け）

プリンタードライバー インストールガイド（PDF）

プリンタードライバー インストールガイドは、本機のプリンタードライバーをパソコンにインストールする方法とプリンタードライバーの使い方について説明しています。

Adobe Photoshop プラグインモジュール使用説明書（PDF）

Adobe Photoshop プラグインモジュール 使用説明書は、Photoshop プラグインのインストール方法と、Photoshop を使用してフレーム付きプリントのテンプレートを作成する方法について説明しています。

受付票プリンター接続マニュアル（PDF）

受付票プリンター接続マニュアルは、UP-CR10L に市販のサーマルレシートプリンターを接続して受付票をプリントする手順について説明しています。

商標について

本文中の以下の用語は、各社の商標です。

- Memory Stick（"メモリースティック"）、MagicGate Memory Stick（"マジックゲートメモリースティック"）、Memory Stick Duo（"メモリースティック Duo"）、Memory Stick PRO（"メモリースティック PRO"）、Memory Stick PRO Duo（"メモリースティック PRO Duo"）はソニー株式会社の商標です。
- CompactFlash™ は、アメリカ合衆国およびその他の国における SanDisk Corporation の商標です。
- SmartMedia™、スマートメディアは株式会社東芝の登録商標です。
- MultiMediaCard™、マルチメディアカードは、独国 Infineon Technologies AG 社の商標です。
- Microdrive®はHitachi Global Storage Technologiesの登録商標です。
- miniSD™ は、SD カードアソシエーションの商標です。
- Adobe、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- xD- ピクチャーカードは、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- Bluetooth® は、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

最新の情報について

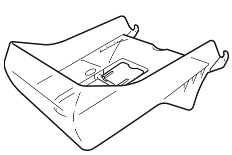
最新の情報については、UP-CR10L のサポートページ（http://www.sony.co.jp/snaplab）をご覧ください。

準備　第2章

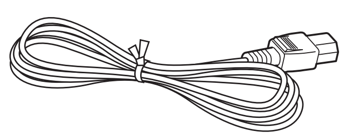
付属品を確認する

付属品を確認してください。

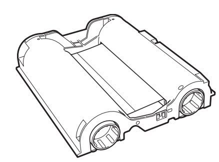
ペーパートレイ（1）



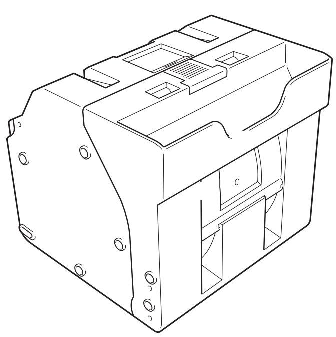
電源コード（1）



クリーニングカートリッジ（1）[2)]

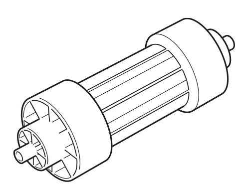


ペーパーホルダー[1)]

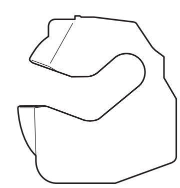


ペーパーホルダーの中に入っています。

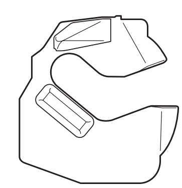
ペーパーコア（1）



アダプター（左）（1）



アダプター（右）（1）



3 極→ 2 極変換プラグ（1）
フェライトコア（1）
CD-ROM（1）
ソフトウェアライセンス契約書（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）

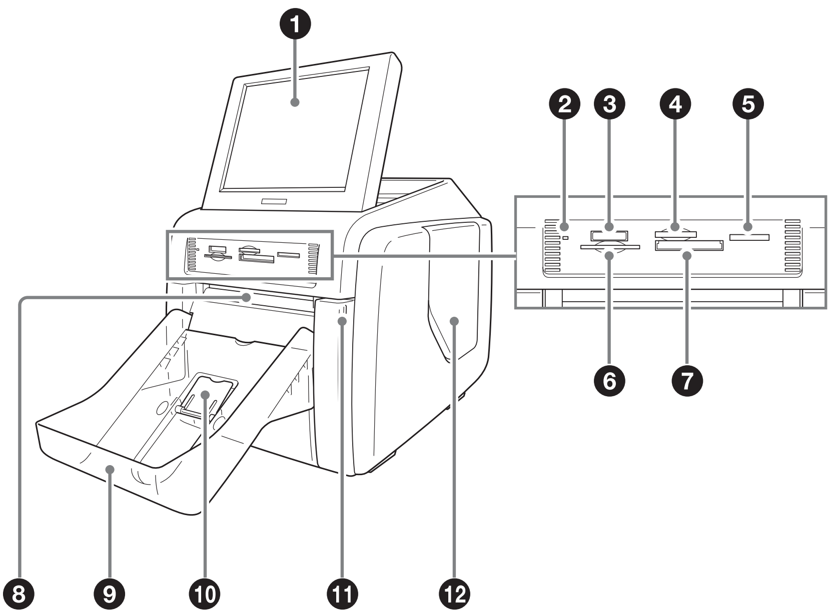
1）プリンター本体の中に入っています。電源を入れる前に本体から取り出してください。
2）使用方法については、「プリンター内部のクリーニング」（61 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 梱包材から本体を取り出す際は、腰を痛めないようにご注意ください。
- 梱包箱や緩衝材は、本機の移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、本機からリボンカートリッジとプリント紙を取りはずしてください。
- 輸送の際は、ペーパーホルダーにたまっている紙片を取り除いてください。紙片が本機の内部に入り込み故障の原因となる場合があります。

各部の名称と働き

前面



❶ ディスプレイ
操作画面が表示されます。タッチパネル方式なので、直接ディスプレイにタッチして操作できます。また、必要に応じてディスプレイの角度を調節できます。

❷ アクセスランプ
スロットにメモリーカードが挿入されると点灯し、アクセス中に点滅します。

❸ "メモリースティック"用スロット（34 ページ）
画像データが記録されている"メモリースティック"を挿入します。

❹ xD- ピクチャーカード用スロット（36 ページ）
画像データが記録されている xD- ピクチャーカードを挿入します。

❺ SD カード／マルチメディアカード用スロット（35 ページ）
画像データが記録されている SD カードまたはマルチメディアカードを挿入します。

❻ スマートメディア用スロット（35 ページ）
画像データが記録されているスマートメディアを挿入します。

❼ コンパクトフラッシュ用スロット（34 ページ）
画像データが記録されているコンパクトフラッシュを挿入します。

ご注意

コンパクトフラッシュ型アダプターに"メモリースティック"やスマートメディア、SD カード、マルチメディアカードなどを装着して、コンパクトフラッシュ用スロットに挿入しないでください。各カードに記録されている画像データが消えたり、本機が動作しなくなる可能性があります。

❽ 排紙口
プリント紙が排出されます。

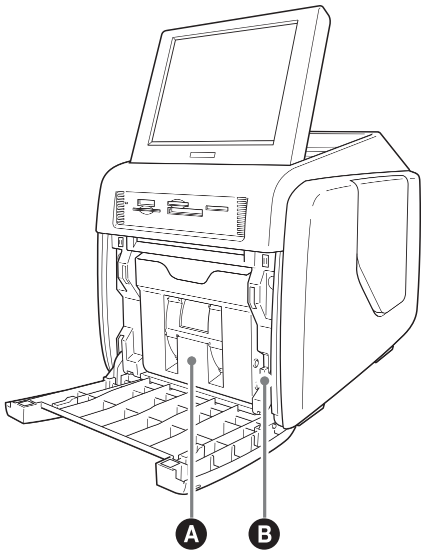
❾ ペーパートレイ（20 ページ）
排出されたプリント紙がたまります。

❿ 排紙ストッパー（20 ページ）
プリントパック 2UPC-C13 を使用する場合に、立てて使用します。

⓫ フロントドア（14 ページ）
プリント紙を交換するときに開閉します。

第２章　準備

フロントドアを開けた場合

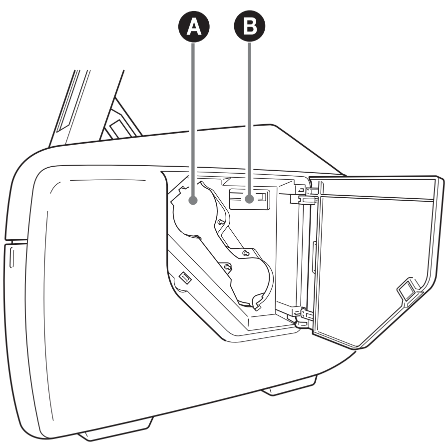


Ⓐ ペーパーホルダー（14 ページ）
プリント紙を入れます。
プリント画とプリント画の間にできる余白が切り取られ、ペーパーホルダーの上部にたまります。

Ⓑ ペーパーホルダー取り出しボタン（14 ページ）
ペーパーホルダーを取り出すときにボタンを押します。

⑫ サイドドア（17 ページ）
リボンカートリッジを交換するとき、および拡張コンパクトフラッシュをセットするときに開閉します。

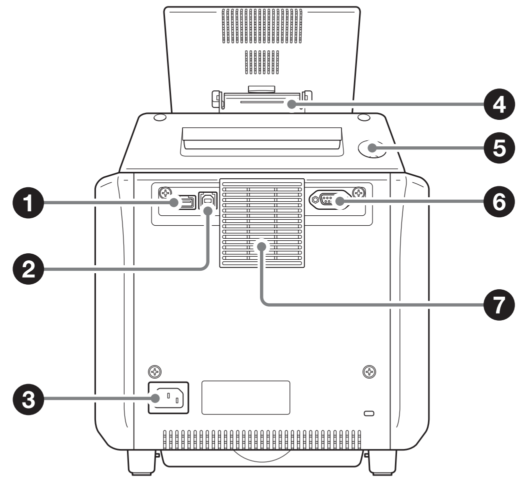
サイドドアを開けた場合



Ⓐ リボンカートリッジ装着口（17 ページ）
リボンカートリッジを取り付けます。

Ⓑ 拡張コンパクトフラッシュ用スロット（20 ページ）
フレームつきプリントやプロモーション画像、テキスト入力、プリントスプールを使用するときに、拡張コンパクトフラッシュを挿入します。

背面



❶ USB 端子（ホスト）
USB デバイスを接続します。
市販のカードリーダーや USB フラッシュメモリーを接続して、データを読み込むことができます。1)
Bluetooth 通信を使用するときは、Bluetooth USB アダプターを挿入します。

1) すべてのカードリーダーおよび USB フラッシュメモリーとの接続を保証するものではありません。
USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。
PictBridge には対応していません。

❷ USB 端子（デバイス）（55 ページ）
市販の USB ケーブルを介して、パソコンと接続します。1)

1) USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

❸ ～ AC IN（電源）端子（13 ページ）
付属の電源コードを接続します。

❹ ディスプレイスタンド
ディスプレイの角度を調節します。

❺ オン / スタンバイボタン
ボタンを押すと、電源が供給されます。もう一度押すと、スタンバイ状態になります。
スタンバイ状態から再び起動する場合は、スタンバイ状態で 5 秒以上経ってからオン／スタンバイボタンを押してください。

警告

本機は電源スイッチを備えていません。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

❻ **RS-232C 端子**

将来の機能拡張用です。現在は使用できません。

❼ **通風孔**

サーマルヘッド冷却ファン用のフィルターが内蔵されています。

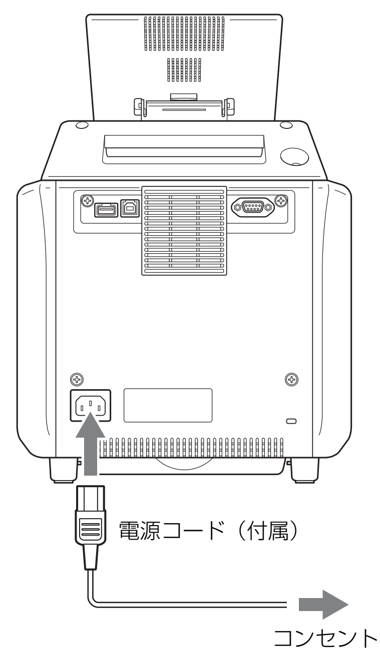
設置する

電源コードを接続する

付属の電源コードの電源プラグを本機の～ AC IN 端子に接続し、もう一方をコンセントに差し込みます。
コンセントが2芯の場合は、コンセント側の電源プラグに付属の3極→2極変換プラグを装着してください。このとき、変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず建物のアース端子に接続してください。

3極→2極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。



ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイを見やすい角度に調整します。角度は8段階に調整できます。
本機を収納する場合は、ディスプレイを手前に完全に起こしてから、後ろに倒してください。

第2章　準備

プリント紙・リボンカートリッジを取り付ける

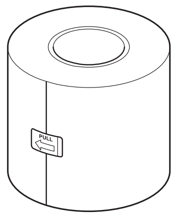
プリント紙・リボンカートリッジの取り扱いについて

ご注意

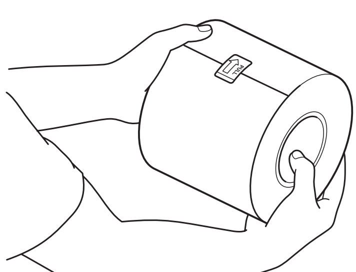
- プリントパックにはリボンカートリッジが2個、プリント紙が2巻入っています。リボンカートリッジとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。詳しくは、「ご使用になれるリボンカートリッジとプリント紙について」（65ページ）をご覧ください。
- 印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。また、リボンカートリッジ1個とプリント紙1巻のセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリントパック	2UPC-C13	2UPC-C14	2UPC-C15
印画枚数	300	200	172
印画サイズ	89 × 126 mm (± 2 mm)	101 × 152 mm (± 2 mm)	126 × 178 mm (± 2 mm)

- リボンカートリッジやプリント紙を使用途中で交換しないでください。リボンカートリッジやプリント紙を途中で交換した場合、上記の印画可能枚数は減少することがあります。
- プリント紙を置くときは、下図のように縦置きにしてください。横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。

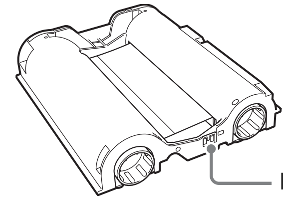


- プリント紙は重いので両手でしっかりお持ちください。落下させるとけがの原因となることがあります。



両手でしっかり持つ。

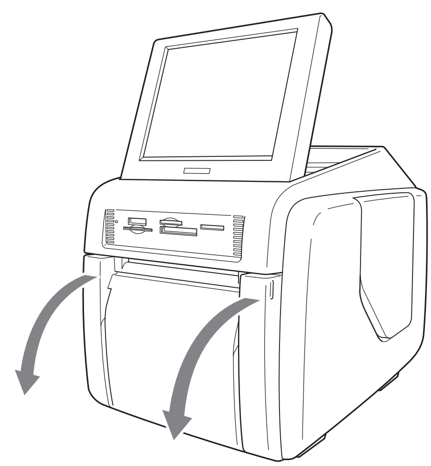
- リボンカートリッジにはIC基板が組み込まれています。端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。



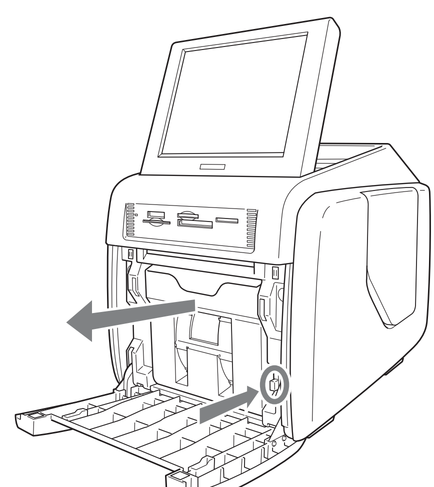
ペーパーホルダーにアダプターを取り付ける

プリント紙の紙幅は、プリントパックによって異なります。2UPC-C14を使用する場合は、ペーパーホルダーにアダプターを取り付けて、幅を調整します。

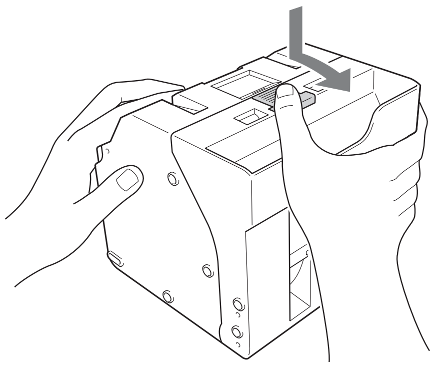
1 フロントドアを開ける。



2 ペーパーホルダー取り出しボタンを押し、ペーパーホルダーを引き出す。



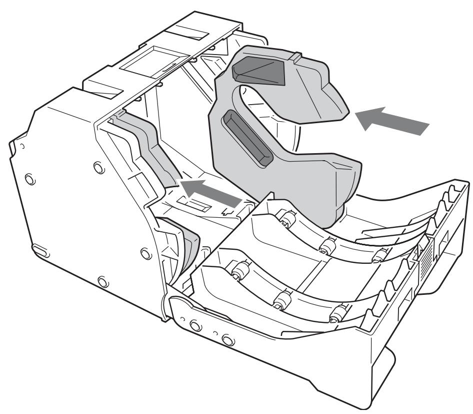
3 上部のボタンを押して、ペーパーホルダーを開ける。



4 ペーパーホルダーの幅を調節する。

2UPC-C14 を使用する場合

ペーパーホルダーに左右のアダプターを取り付けます。



メモ

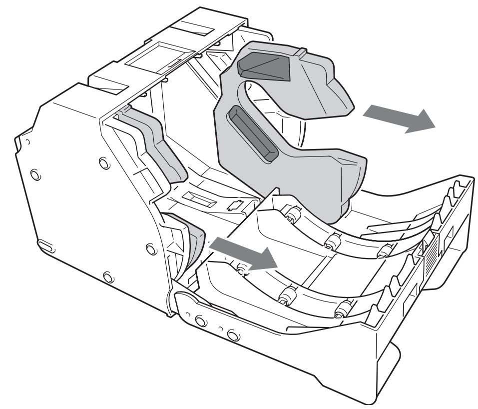
アダプターの上辺に付いているシールの色とペーパーホルダーのシールの色を合わせてください。

ご注意

アダプターは奥までしっかり差し込んでください。

2UPC-C13 および 2UPC-C15 を使用する場合

ペーパーホルダーからアダプターを取りはずします。



ご注意

アダプターはなくさないように保管してください。

プリント紙・リボンカートリッジを取り付ける

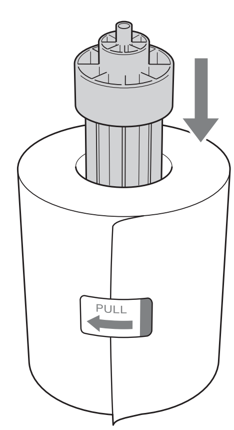
初めてプリンターをお使いになる場合は、まずプリント紙およびリボンカートリッジを取り付けてください。2UPC-C14 を使用する場合は、ペーパーホルダーにアダプターを取り付ける必要があります。取り付けかたについては、「ペーパーホルダーにアダプターを取り付ける」（14 ページ）をご覧ください。
使用済みのプリント紙およびリボンカートリッジを取りはずす場合は、「プリント紙・リボンカートリッジを取りはずす」（18 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 必ず専用のプリントパックをお使いください。
- プリント紙とリボンカートリッジは、必ずセットで交換してください。

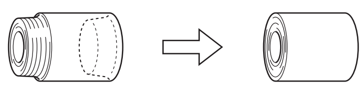
プリント紙を取り付ける

1 プリント紙にペーパーコアを差し込む。

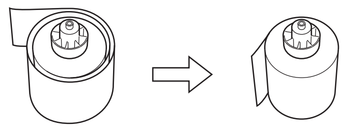


ご注意

- 用紙の端がそろっていない場合は、端を平らにそろえてから取り付けてください。そのまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

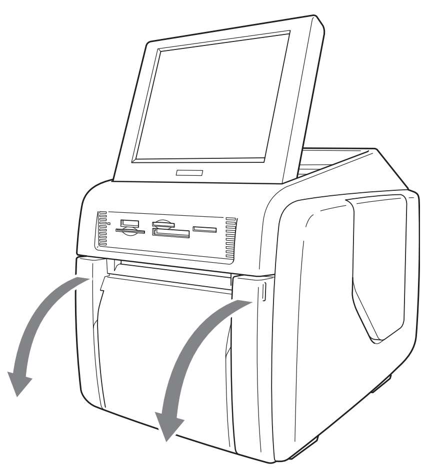


- 用紙の巻きがゆるんでいる場合は、巻き直してから取り付けてください。そのまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

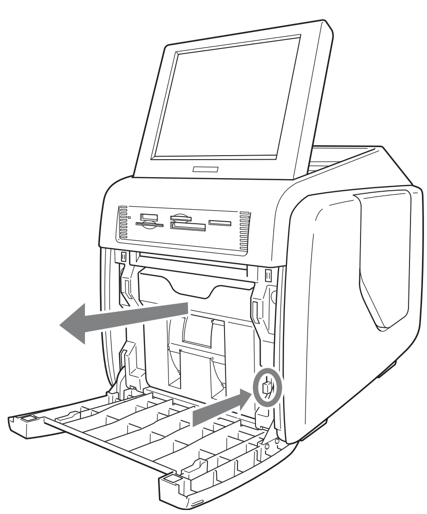


- 用紙を硬いものにぶつけたり、強くつかまないでください。用紙が折れたり曲がったりして、プリントの品質に影響がでることがあります。

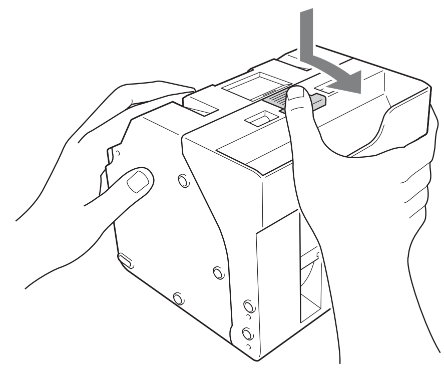
2 フロントドアを開ける。



3 ペーパーホルダー取り出しボタンを押し、ペーパーホルダーを引き出す。

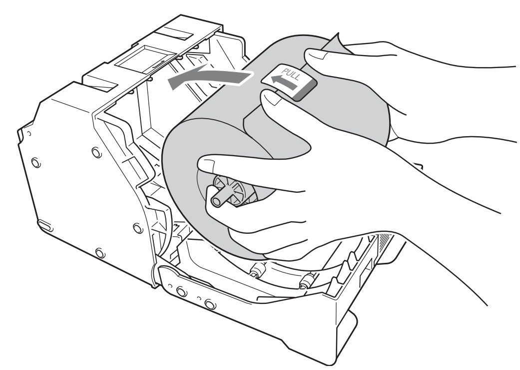


4 上部のツメを押して、ペーパーホルダーを開ける。



5 プリント紙をペーパーホルダーに入れる。

プリント紙の中央にあるシールの矢印が奥を向くように入れます。



ご注意

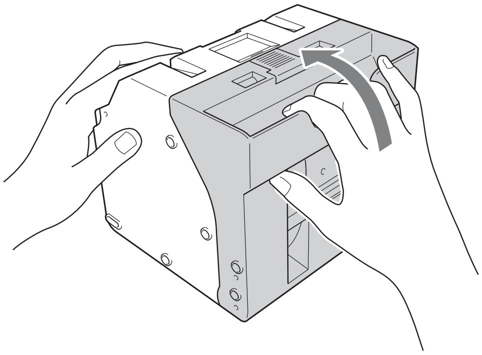
プリント紙を取り付けるときは、ペーパーホルダーのふたを完全に開いてください。完全に開いていないと、故障の原因となることがあります。

6 プリント紙の中央についているシールをはがす。

ご注意

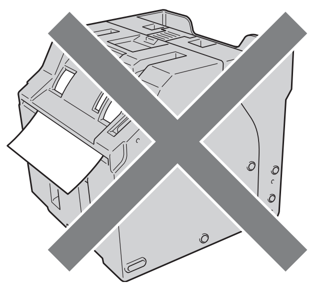
- プリント紙についているシールはすべてはがしてください。シールがプリンター内に残ると、トラブルの原因となることがあります。
- プリント紙をセットした後は、プリント面（ロール紙の内側の面）には触れないでください。指紋や汗、折り目が付くと、プリントの品質に影響が出ることがあります。
- プリント紙はしっかり奥まで入れてください。

7 ペーパーホルダーを閉める。



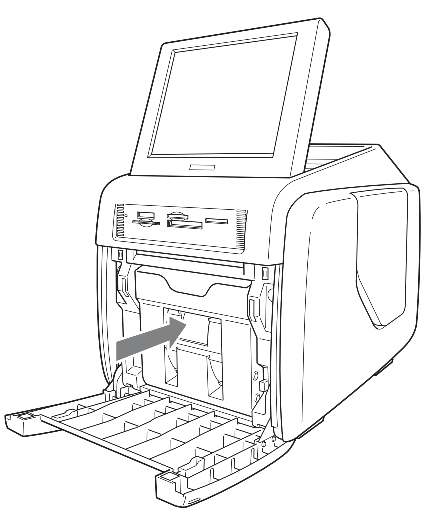
ご注意

ペーパーホルダーを閉じた際に、プリント紙の先端がペーパーホルダーの排出口から出ないように注意してください。

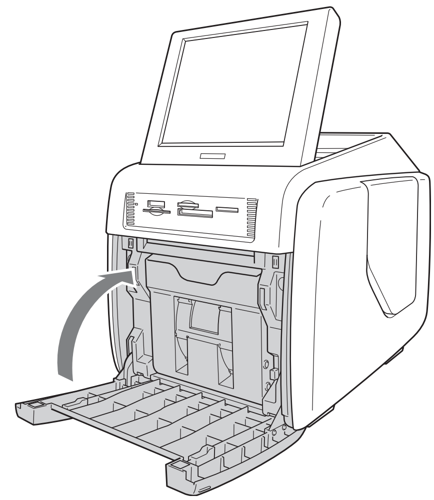


8 ペーパーホルダーを本機の中に戻す。

カチッと音がするまで、押し込んでください。

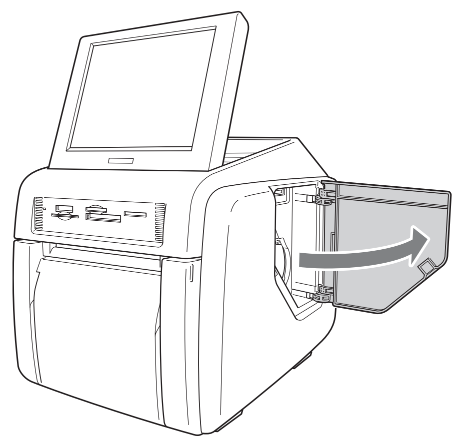


9 フロントドアを閉める。

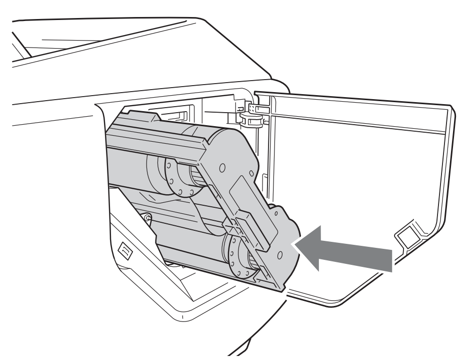


リボンカートリッジを取り付ける

1 サイドドアを開ける。

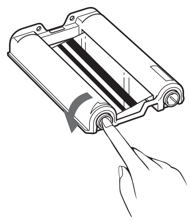


2 リボンカートリッジを奥まで挿入する。



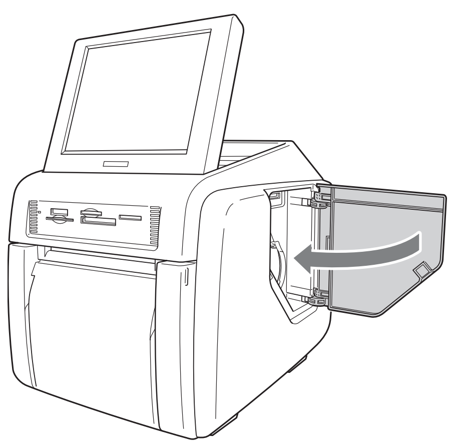
ご注意

- リボンカートリッジがうまく入らないときは、いったんリボンカートリッジを取り出してから入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。



- インクリボンを巻き戻してプリントしないでください。正常にプリントできないだけでなく、故障の原因になることがあります。
- プリント中にリボンカートリッジを交換しないでください。
- プリント終了直後は、本機内部のサーマルヘッドが熱くなっている場合があります。カートリッジ取り付けの際、リボンカートリッジ装着口の内部に手を入れると、やけどの原因となることがありますのでご注意ください。

3 サイドドアを閉める。



プリントパック保存上のご注意

- 次のような場所での保存は避けてください。
  －温度の高いところ
  －湿度やほこりの多いところ
  －直射日光のあたるところ
- 開封後は、なるべく早くご使用ください
- 輸送時など、使用途中で保存しなければならない場合は、製品が入っていた袋に入れてください。

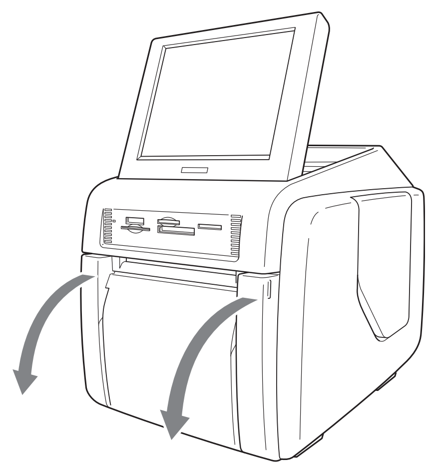
ご注意

- プリント紙は余分に巻いてあります。リボンカートリッジが終了したときは、余ったプリント紙を取り出し、新しいリボンカートリッジとプリント紙を取り付けてください。
- プリント紙のサイズに合ったリボンカートリッジをセットでお使いください。異なる組み合わせでお使いになると、正常なプリント結果が得られないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。
- プリント紙のプリント面やリボンカートリッジのインクには触らないでください。プリント面やインクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

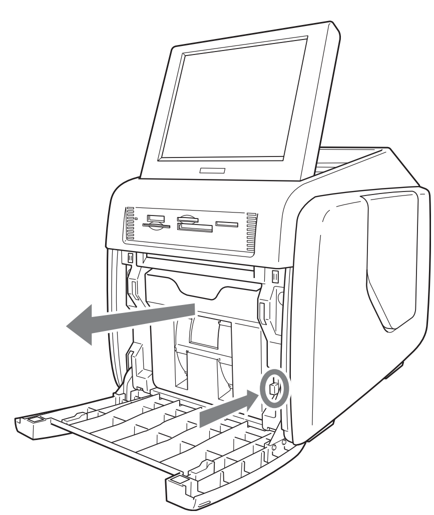
プリント紙・リボンカートリッジを取りはずす

プリント紙を取りはずす

1 フロントドアを開ける。

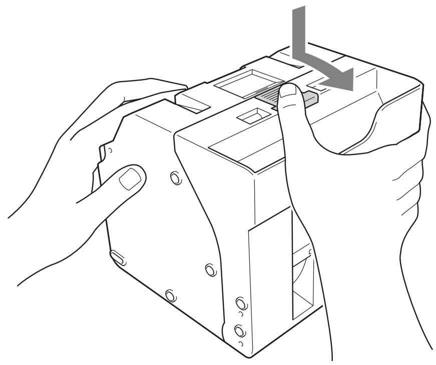


2 ペーパーホルダー取り出しボタンを押し、ペーパーホルダーを引き出す。

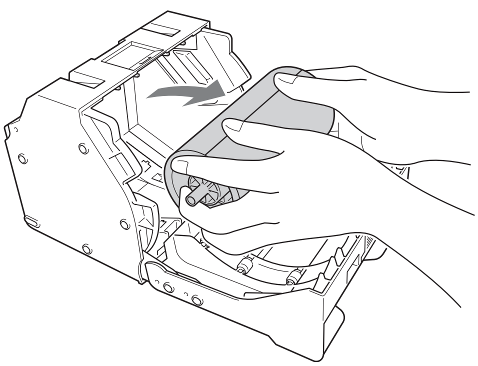


3 ペーパーホルダーにたまっている紙片を取り除く。

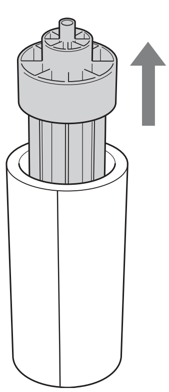
4 上部にあるボタンを押して、ペーパーホルダーを開ける。



5 プリント紙を引き出す。



6 取りはずしたプリント紙からペーパーコアを引き抜く。

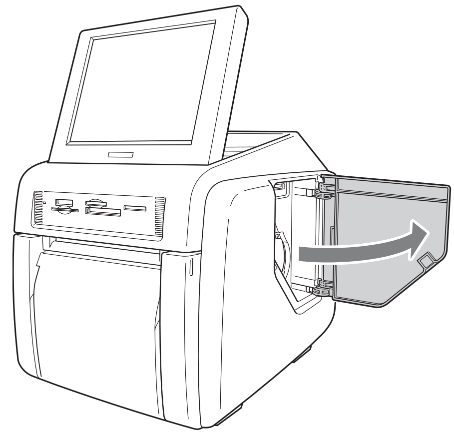


ご注意

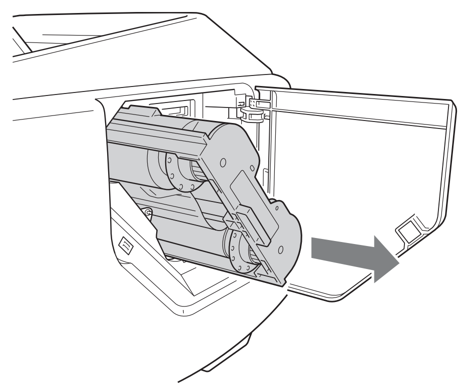
ペーパーコアは繰り返し使用します。なくさないように注意してください。

リボンカートリッジを取りはずす

1 サイドドアを開ける。



2 リボンカートリッジのつまみを引いてロックをはずし、カートリッジ本体を持って取り出す。



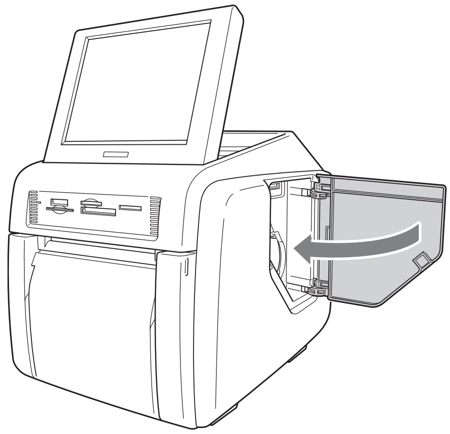
メモ

インクリボンが切れてしまったときは、テープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

ご注意

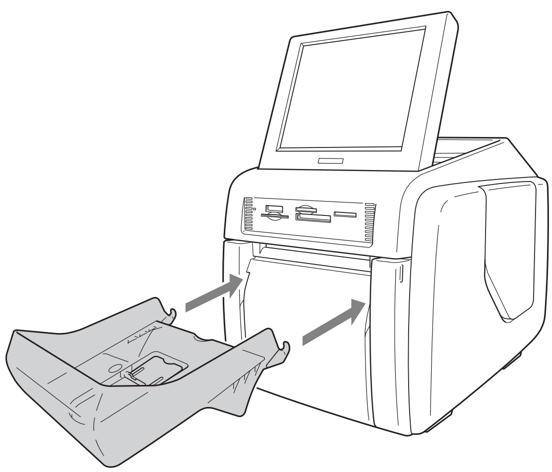
プリント終了直後は、本機内部のサーマルヘッドが熱くなっている場合があります。カートリッジを取りはずした後、リボンカートリッジ装着口の内部に手を入れると、やけどの原因となることがありますのでご注意ください。

3　サイドドアを閉める。

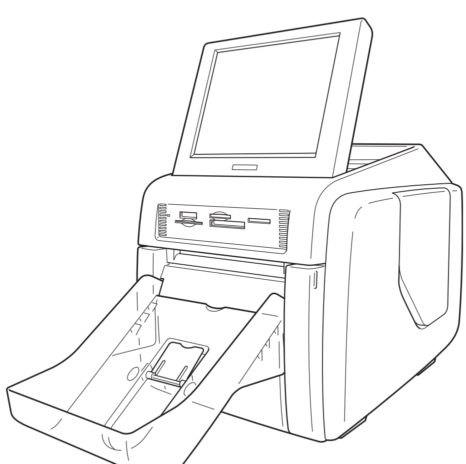


ペーパートレイを取り付ける

付属のペーパートレイを取り付けます。

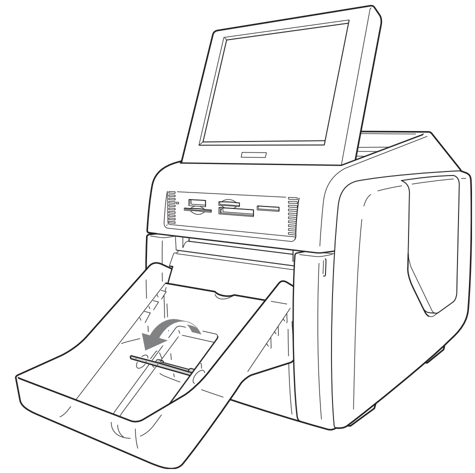


2UPC-C14、2UPC-C15 をご使用の場合



プリント画を約 100 枚ためることができます。しかし、使用環境やプリント画の画像によっては､ためられる枚数が大きく異なります。出力されたプリント画は早めに取り出してください。

2UPC-C13 をご使用の場合



排紙ストッパーを立てる。

プリント画を約 100 枚ためることができます。しかし、使用環境やプリント画の画像によっては､ためられる枚数が大きく異なります。出力されたプリント画は早めに取り出してください。

ご注意

排出されるまでは、プリント紙に手を触れないでください。プリント紙が排紙口に残っている場合は、すぐに取り除いてください。

ペーパートレイを取りはずすには

ペーパートレイの下部を持って水平に持ち上げ、手前に引き出します。

拡張コンパクトフラッシュを準備する

次の操作をする場合は、拡張コンパクトフラッシュが必要になります。

- フレームつきプリント
- プロモーション画像の表示
- テキスト入力
- システム履歴、プリント履歴のエクスポート
- Bluetooth 通信を使ったプリント

拡張コンパクトフラッシュは、市販のコンパクトフラッシュを使って作成します。

コンパクトフラッシュ（Type-I、Type-II）およびマイクロドライブが使用できます。512 MB 以上の容量のコンパクトフラッシュを推奨します。

拡張コンパクトフラッシュを作成する

付属の CD-ROM に、フレームつきプリントのテンプレートとプロモーション画像のサンプルが収録されています。これらのデータを、お使いのパソコンでコンパクトフラッシュにコピーして、拡張コンパクトフラッシュを作成します。お使いのパソコンで、コンパクトフラッシュを使用できない場合は、他のメモリーカードにいったんコピーして、本機でコンパクトフラッシュにコピーすることもできます。

1 パソコンにコンパクトフラッシュをセットする。

2 プロモーション画像をコピーする。

コンパクトフラッシュのルートフォルダに「¥Sony¥UPCR¥」フォルダを作成し、付属の CD-ROM の「¥Sony¥UPCR¥Promotion」フォルダをフォルダごとコピーします。

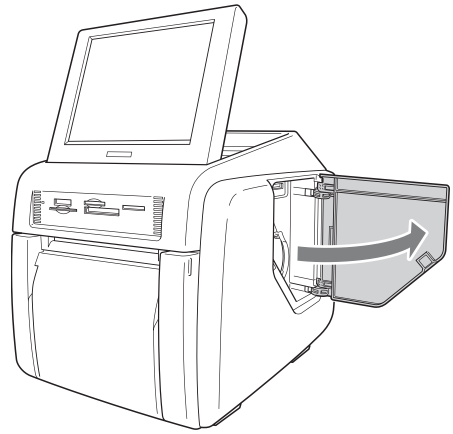
3 フレームつきプリントのテンプレートをコピーする。

テンプレートは、付属の CD-ROM の「¥Sony¥UPCR¥Template」フォルダに格納されています。フォルダは、プリントサイズ（3x5、4x6、5x7）ごとに分かれています。コンパクトフラッシュのルートフォルダに「¥Sony¥UPCR¥Template」フォルダを作成し、使用するサイズのフォルダをフォルダごとコピーしてください。
CD-ROM に収録されたデータをすべてコピーするには、容量が 512 MB 以上のコンパクトフラッシュが必要です。

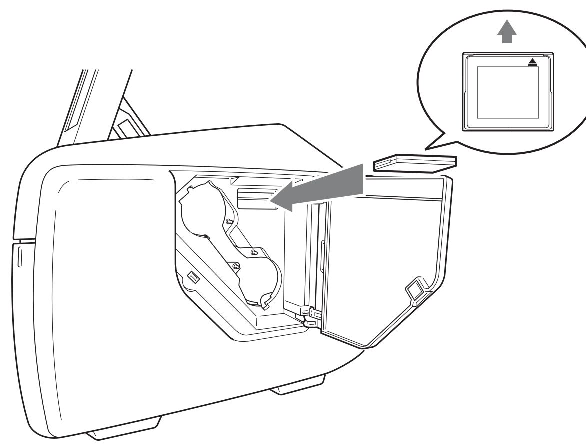
コンパクトフラッシュ以外のメモリーカードにデータをコピーした場合は、本機でメモリーカードからコンパクトフラッシュにデータをコピーする必要があります。
データをコピーする方法については、「テンプレートタブ」（27 ページ）を参照してください。

拡張コンパクトフラッシュをセットする

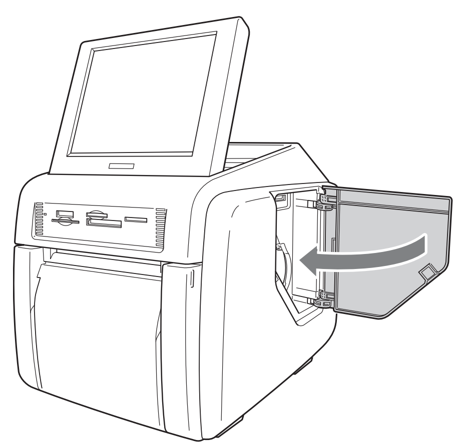
1 サイドドアを開ける。



2 作成した拡張コンパクトフラッシュを拡張コンパクトフラッシュ用スロットに挿入する。



3 サイドドアを閉める。

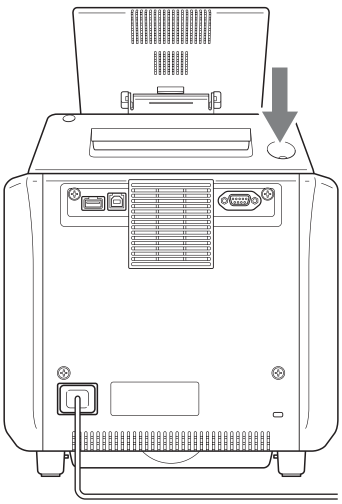


第2章　準備

起動と終了

起動

1 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていないことを確認し、オン / スタンバイボタンを押す。



本機が起動し、次の画面が表示されます。



この後の操作方法については、「操作」（32 ページ）をご覧ください。

終了

1 操作中の場合は操作を終了させ、次の画面を表示させる。

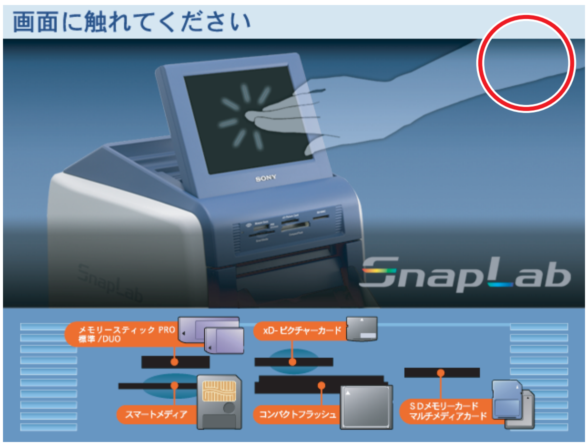


2 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていないことを確認し、オン / スタンバイボタンを押す。

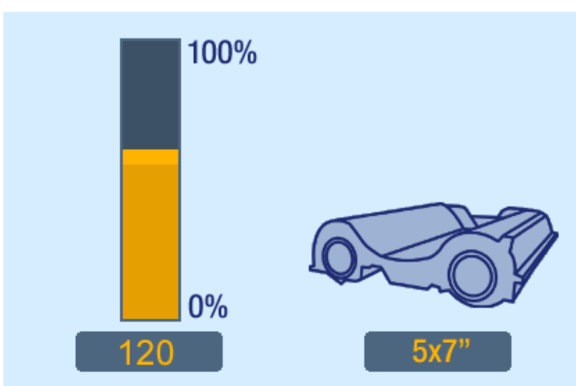
リボンカートリッジの残量確認

リボンカートリッジの残量を確認できます。

1 スタートガイド画面で、画面の右上隅に２回続けてタッチする。



リボンカートリッジの残量が表示されます。



５秒たつと元の画面に戻ります。

第２章　準備

設定　第3章

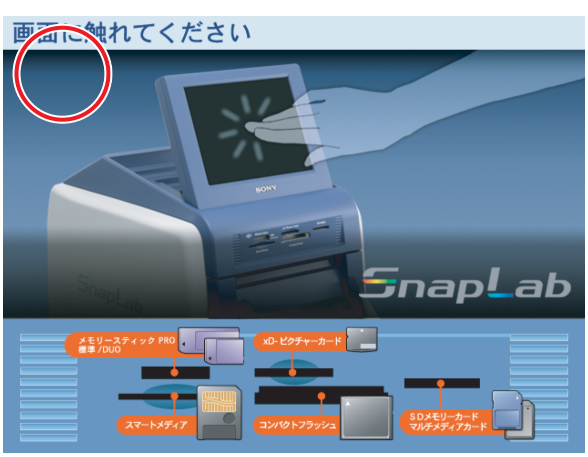
設定のしかた

本機を導入するにあたって、使用する言語や料金、提供するサービスのモード、パスワードなどを設定しておく必要があります。これらの設定は、管理画面で行います。また、導入後に、設定を変更したり本機の調整をするときにも、管理画面を使います。
管理画面は、次の手順で表示します。

ご注意

- 管理画面で本機の設定を行うには、管理者用パスワードの入力が必要です。出荷時には、「9999」が管理者用パスワードとして設定されています。
- 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていると、管理画面を表示できません。メモリーカードを抜いてから、再度操作してください。

1 スタートガイド画面で、画面の左上隅に 2 回続けてタッチする。



パスワード入力画面が表示されます。

2 画面上のテンキーを使って、パスワードを入力する。

3 ［OK］ボタンにタッチする。

管理画面が表示されます。



この画面で各タブにタッチして画面を選択し、設定を行います。各タブで設定できる内容について詳しくは、この後の「設定項目」（25 ページ）をご覧ください。

（システム）タブ
操作時に使用する言語やビープの ON/OFF、パソコンとの接続について設定します。
また、タッチパネルの調整も、このタブから行います。

（画面表示）タブ
操作モードの選択やプロモーション画面の設定を行います。

（テンプレート）タブ
テンプレートの読み込みと削除、合成するテキストの入力を行います。

（プリンターの設定）タブ
オーダー番号の記録方法と日付のフォーマットについて設定します。
また、プリンターのプリント位置の調整を行います。

（プリンターの画質設定）タブ
プリンターの画質を調整します。

（料金）タブ
使用する通貨や料金について設定します。

(管理）タブ
プリントの上限枚数やパスワードを設定します。
また、プリント履歴やシステム履歴を表示します。

4 設定が終了したら、 ボタンにタッチします。

設定項目

システムタブ



音

本機の操作時やエラー時に、ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

パソコン接続

パソコンからの操作を受け付けるかどうかを設定します。
［オフ］に設定した場合は、USB ケーブルを使ってパソコンを接続しても、パソコンから本機を操作することはできません。

言語

操作画面やメッセージの表示に使用される言語を指定します。言語は 4 つまで指定できます。複数の言語を指定した場合は、オーダーごとに言語を選択できます。
管理画面は、［1］に指定した言語で表示されます。

1 ［1］～［4］のボタンのどれかにタッチします。

言語の一覧が表示されます。

2 設定したい言語にタッチしてから、［OK］ボタンにタッチします。

設定を取り消したいときは、［(オフ)］にタッチします。

ご注意

言語が 1 つしか選択されていない場合、オーダー時に言語選択画面が表示されません。

第 3 章 設定

タッチパネル調整

タッチパネルと画面表示のずれを調整します。ボタンにタッチし、表示される四角形にタッチしてください。
タッチすると、別の位置に四角形が表示されます。四角形に順にタッチして、四角形が表示されなくなると、調整は完了です。

プリントヘッドクリーニング

プリンター内部のクリーニングを行います。
詳しくは、「プリンター内部のクリーニング」（61 ページ）をご覧ください。

画面表示タブ



モード選択

簡易モード、フル機能モード、標準モードの中から操作モードを選択します。

- 簡易モード
  お客様の操作項目を減らし、簡単にすばやくプリントするのに適した操作モードです。
  メモリーカードからプリントしたい画像を選択してプリントするか、メモリーカード内の全画像を一括プリントします。画像の編集はできません。
  プリント時にパスワードの入力を要求できます。
- フル機能モード
  本機の豊富な機能を活かして、お客様に自由に操作、プリントしていただくのに適した操作モードです。通常のプリントに加え、分割プリント、インデックスプリント、フレームつきプリントができます。プリントする画像の編集もできます。
  プリント時にパスワードの入力を要求できます。
- 標準モード
  パーティや結婚式など、各種イベントで自由にプリントしていただくのに適した操作モードです。また、お客様ではなく、店員の方が操作する場合にも適しています。
  使える機能はフル機能モードと同じです。
  プリント時に料金確認やパスワード入力が不要で、すぐにプリントできます。

プロモーション画像

プロモーション画像を設定します。本機は、任意の画像を2つまで指定して、フル機能モード時と簡易モード時に待ち受け画面として表示できます。
初期設定では、スタートガイドが待ち受け画面として表示されます。プロモーション画像を設定すると、スタートガイドとプロモーション画面が順に表示されます。
なお、プロモーション画像を使用するには、拡張コンパクトフラッシュがセットされている必要があります。拡張コンパクトフラッシュについては、「拡張コンパクトフラッシュを準備する」（20 ページ）をご覧ください。
プロモーション画像は、市販の写真編集ソフトを使って作成できます。

プロモーション画像の仕様

- 画像サイズ：横 640 ×縦 480 ピクセル
- ファイル形式：24 ビット Windows BMP
- ファイル名：画像 1=promo1.bmp、画像 2=promo2.bmp
- ファイル格納先：¥Sony¥UPCR¥Promotion

- （プロモーション画像のインポート）
  本機前面のメモリーカードスロットに挿入したメモリーカードから、プロモーション画像をインポートします。
  エラーメッセージが表示された場合には、次の原因が考えられます。ご確認ください。
  －拡張コンパクトフラッシュの空き容量が不足している。
  －コピーするファイルが指定のフォルダにないか、プロモーション画像の仕様と異なる。

  ご注意

  拡張コンパクトフラッシュにプロモーション画像が既に保存されている場合は、画像が上書きされます。読み取り専用ファイルの場合も強制的に上書きされますのでご注意ください。
- 画像 1、画像 2
  各画像の表示時間を設定します。プロモーション画像が表示されたときに、ここで設定した時間が経過すると、次の画像に切り替わります。［オフ］を選択すると、プロモーション画像を表示しません。
  ［画像 1］、［画像 2］、［スタートガイド］をすべて［オフ］にすることはできません。

スタートガイド

スタートガイドの表示時間を設定します。スタートガイドが表示されたときに、ここで設定した時間が経過するとプロモーション画像に切り替わります。［オフ］を選択すると、スタートガイドを表示しません。
［画像1］、［画像2］、［スタートガイド］をすべて［オフ］にすることはできません。

テンプレートタブ



「フレームつきプリント」のテンプレートの読み込みと削除、および合成するテキストの入力を行います。
なお、テンプレートタブでの設定には、拡張コンパクトフラッシュがセットされている必要があります。拡張コンパクトフラッシュについては、「拡張コンパクトフラッシュを準備する」（20 ページ）をご覧ください。
テンプレートは、付属の CD-ROM に収録されている Adobe Photoshop プラグインを使用して作成できます。詳しくは、Adobe Photoshop プラグインの使用説明書をご覧ください。

テンプレート

- （すべてコピー）
  本機前面のメモリーカードスロットに挿入したメモリーカードに記録されているテンプレートをすべて拡張コンパクトフラッシュにコピーします。
  ボタンにタッチし、表示されるメッセージに従って操作してください。
  エラーメッセージが表示された場合には、次の原因が考えられます。ご確認ください。
  －拡張コンパクトフラッシュの空き容量が不足している。
  －コピーするファイルが指定のフォルダにないか、プロモーション画像の仕様と異なる。

ご注意

拡張コンパクトフラッシュに同名のテンプレートがある場合は上書きされます。読み取り専用ファイルの場合も強制的に上書きされますのでご注意ください。

- （すべて削除）
  拡張コンパクトフラッシュに保存されているテンプレートをすべて削除します。

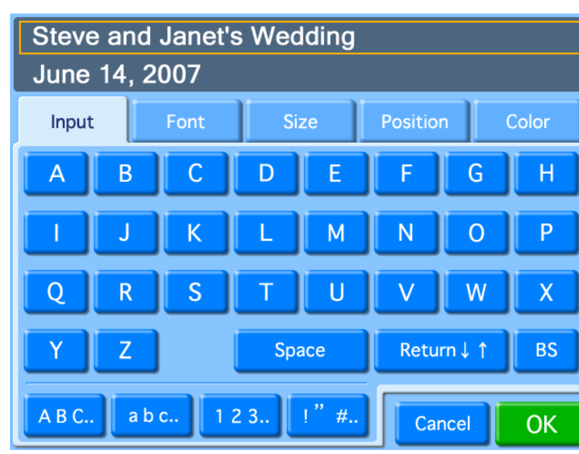
ご注意

既存のテンプレートが読み取り専用ファイルの場合も強制的に削除されますのでご注意ください。

Text Input

画像に合成するテキストを入力します。入力したテキストは、［プリント］および［フレームつきプリント］を行うときに、画像とともにプリントされます。テキストには、英数字および記号が使用できます。
テキストを入力するには、［Text Setting］ボタンにタッチして、テキスト入力画面を表示させます。テキスト入力画面での操作については、次の「テキスト入力画面」で説明します。
入力したテキストを使用するには、［オン］を選択します。

テキスト入力画面



［Input］タブ

画面上のキーボードにタッチして、テキストを入力します。英数字と記号が使用でき、2 行 128 文字まで入力できます。入力した文字を取り消すには、［BS］ボタンにタッチします。タッチし続けると、カーソルのある行をすべて削除します。

［Font］タブ

表示するフォントを選択します。

[Size] タブ

[＋] [－] ボタンで文字のサイズを設定します。設定できるサイズは 8 ～ 72 ポイントで、2 ポイント単位で変更できます。

[Position] タブ

文字を画像のどの位置に配置するかを設定します。

[Color] タブ

文字色を選択します。

ご注意

設定した文字数やサイズによっては、すべての文字をプリントできない場合があります。

プリンターの設定タブ



オーダー番号記録

次のいずれかを選択して、プリント紙にオーダー番号を記録するかどうかを設定します。

- しない
  オーダー番号を記録しません。
- （すべてに記録する）
  すべてのプリントにオーダー番号を記録します。
- （先頭のみ記録する）
  各オーダーの最初の画像をプリントするときにオーダー番号を記録します。最初の画像を複数枚プリントする場合は、最初の画像のプリントすべてに記録します。

オーダー番号は、プリントの端に透かし状に印字されます。

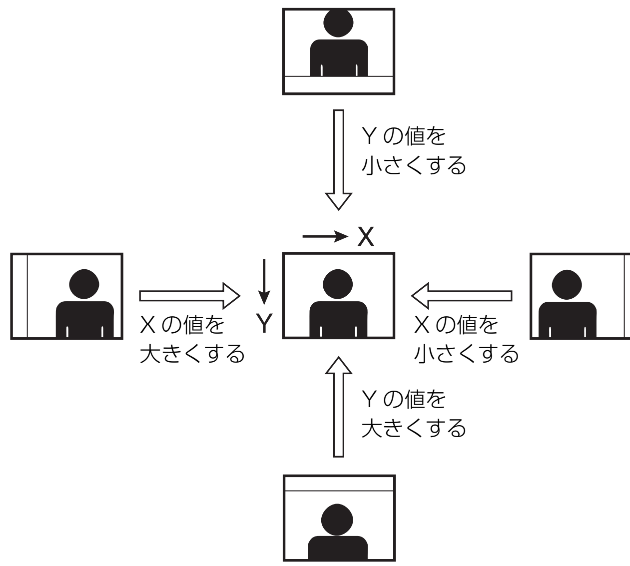
日付プリントのフォーマット

プリントに日付を入れるときのフォーマットを次の中から選択します。

- 年・月・日（例：2005/10/30）
- 日・月・年（例：30/10/2005）
- Month・日・年（例：Oct/30/05）
- 月・日・年（例：10/30/2005）

プリント位置の調整

プリント位置がプリント紙の中心からずれている場合に、プリント位置を調整します。X、Y の値を調整します。縦横とも、± 2 mm までの範囲で調整できます。



Y：プリント紙の排紙方向

プリンターの画質設定タブ



プリンターの画質に関する次の設定項目を [◀] [▶] ボタンで調整します。各項目とも、2 刻みで ± 16 までの調整ができます。

赤、緑、青

各色の色成分を調整します。

暗い、明るい

暗い部分、明るい部分の階調を調整します。

ガンマ

中間調の濃度を調整します。

シャープネス

画像の輪郭のシャープさを調整します。

料金タブ



表示

画像の選択画面やプレビュー画面に料金を表示するかどうかを設定します。

通貨

料金計算に使用する通貨を設定します。

ボタンにタッチすると、選択できる通貨の一覧が表示されます。使用する通貨にタッチして選択した後、[OK] ボタンにタッチします。通貨を表示させない場合は、[(12.34)]（小数点を表示させる場合）または [(1234)]（小数点を表示させない場合）を選択します。

画面表記	通貨
AUD	豪州ドル
CAD	カナダ ドル
CHF	スイス フラン
DKK	デンマーク クローネ
EUR	ユーロ
GBP	英国ポンド
GRD	ギリシャ ドラクマ
ILS	イスラエル シェケル
YEN	日本円
NOK	ノルウエー クローネ
NT	台湾ドル
NZD	ニュージーランド ドル
PHP	フィリピン ペソ
RMB	中国元
Rs	インド ルピー
RUB	ロシア ルーブル
SEK	スエーデン クローネ
SGD	シンガポール ドル
THB	タイ バーツ
TRL	トルコ リラ
USD	米国ドル
HKD	香港ドル
KRW	韓国ウォン
MXN	メキシコ ペソ
BRL	ブラジル レアル
COP	コロンビア ペソ
VEB	ベネズエラ ボリバル
XCD	東カリブ ドル
ARS	アルゼンチン ペソ
CLP	チリ ペソ
PEN	ペルー ヌエボソルス
PAB	パナマ バルボア
ECS	エクアドル スクレ
JMD	ジャマイカ ドル
UYU	ウルグアイ ペソ

料金

- L、はがき、2L
  各サイズのプリント単価を設定します。
  ボタンにタッチし、画面に表示されるテンキーで料金を入力してから、[OK] ボタンにタッチします。料金は、0 ～ 9999（通貨単位によっては 0 ～ 99.99）の範囲で設定できます。

追加料金

- インデックスプリント、フレームつきプリント、分割プリント
  それぞれのプリントを選択したときの追加料金を設定します。サイズの単価と追加料金を合計した金額が、実際の料金になります。
  ボタンにタッチし、画面に表示されるテンキーで料金を入力してから、[OK] ボタンにタッチします。料金は、0 ～ 9999（通貨単位によっては 0 ～ 99.99）の範囲で設定できます。

管理タブ



上限枚数

プリントできる枚数の上限を設定します。
まず、上限枚数のモード（オーダー、レンタル、インクリボン）をボタンで選択します。次に、ボタンにタッチし、画面に表示されるテンキーで枚数を入力してから［OK］ボタンにタッチします。

- （オーダー）
  1 回のオーダーでプリントできる枚数を設定します。枚数は、1 ～ 500 の範囲で設定できます。1 回のオーダーでの上限枚数は、ほかのボタンが選択されているときも有効です。
- （レンタル）
  累計でのプリント枚数の上限を設定します。設定値以上はプリントできないため、貸し出し等の用途に適しています。枚数は、1 ～ 9999 の範囲で設定できます。
  累計値をクリアするときは、ボタンにタッチして、枚数を設定しなおします。
- （インクリボン）
  プリントするときのリボンカートリッジの残量でプリント枚数の上限を決めます。このボタンを選択したときは、枚数を設定できません。

なお、上記の設定にかかわらず、1 画像あたりの上限枚数は 99 枚です。

メモ

- 1 回のオーダーでの上限枚数は、ほかのボタンが選択されているときも有効です。
- レンタル選択時は、プリント可能枚数が表示されます。「0」が表示されているときは、上限枚数を再設定するまでプリントできません。

パスワード

プリント開始時にパスワードを入力させるかどうかを設定します。［オン］を設定した場合は、フル機能モードと簡易モードのプリント開始時にパスワードの入力が要求されます。

バジェットコード

プリント時にバジェットコードの入力を要求するかどうかを設定します。
バジェットコードに［オン］を設定すると、フル機能モードまたは簡易モードのプリント時にバジェットコードの入力が必要になります。入力されたコードは、プリント履歴に表示されます。
たとえば、部署ごとにバジェットコードを割り当てておくと、部署ごとのプリント実績を管理できます。バジェットコードには、4 けたまでの数字が使用できます。

管理者パスワード

管理画面を表示するときのパスワードを設定します。
ボタンにタッチし、画面に表示されるテンキーで 4 けたの数字を入力して、［OK］ボタンにタッチします。
管理者パスワードは、プリント開始時に入力するパスワードとしても使用できます。

オーダー確認パスワード

プリント開始時に入力するパスワードを設定します。
ボタンにタッチし、画面に表示されるテンキーで 4 けたの数字を入力して、［OK］ボタンにタッチします。
拡張コンパクトフラッシュが挿入されているときは、［OK］ボタンにタッチすると、パスワードファイルが拡張コンパクトフラッシュに出力されます。パスワードファイルは、メモリーカードを使ってパスワードを入力する場合に使用します。詳しくは、「メモリーカードを使ってパスワードを入力する（リモートパスワード入力）」（53 ページ）をご覧ください。

プリント履歴

本機のプリント履歴をオーダー単位で表示します。



オーダーごとに次の項目が表示されます。
- オーダー No.
- バジェットコード
- プリントサイズ
- プリントの種類（P：プリント、I：インデックスプリント、S：分割プリント、B：フレームつきプリント、A：すべてプリント）
- 枚数
- 料金

プリント履歴は、拡張コンパクトフラッシュにエクスポートできます。
ボタンにタッチすると、プリント履歴が CSV 形式でエクスポートされます。バジェットコードを使用しているときは、エクスポートした CSV ファイルにバジェットコードが出力されます。
履歴をクリアしたいときは、ボタンにタッチします。

システム履歴

本機のシステム履歴を表示します。



次の項目が表示されます。
- プリントカウンター
- 累積プリント枚数
- サーマルヘッドのプリント枚数
- 作動時間（電源投入からの時間、ファン、LCD バックライトの作動時間）
- ファームウェアのバージョン

システム履歴は、拡張コンパクトフラッシュにエクスポートできます。
ボタンにタッチすると、システム履歴が CSV 形式でエクスポートされます。
プリントカウンターをリセットしたいときは、ボタンにタッチします。

出荷時設定

工場出荷時の設定に戻します。

操作　第4章

操作の概要

プリントの種類

本機は、デジタルカメラなどで撮影した画像データを次に示すさまざまな形でプリントできます。

プリント

メモリーカードの中から好きな画像を選び、枚数を指定してプリントします。
すべての操作モードで選択できます。

インデックスプリント

メモリーカードの中に記録されているすべての画像を縮小して並べ、プリントします。たくさんの画像を一覧できるので、撮った画像の管理や、焼き増しに便利です。
フル機能モードおよび標準モードで選択できます。

分割プリント

1枚のプリント紙に複数の画像を割り付けてプリントします。また、証明写真などのように、定型サイズでの分割プリントもできます。
フル機能モードおよび標準モードで選択できます。

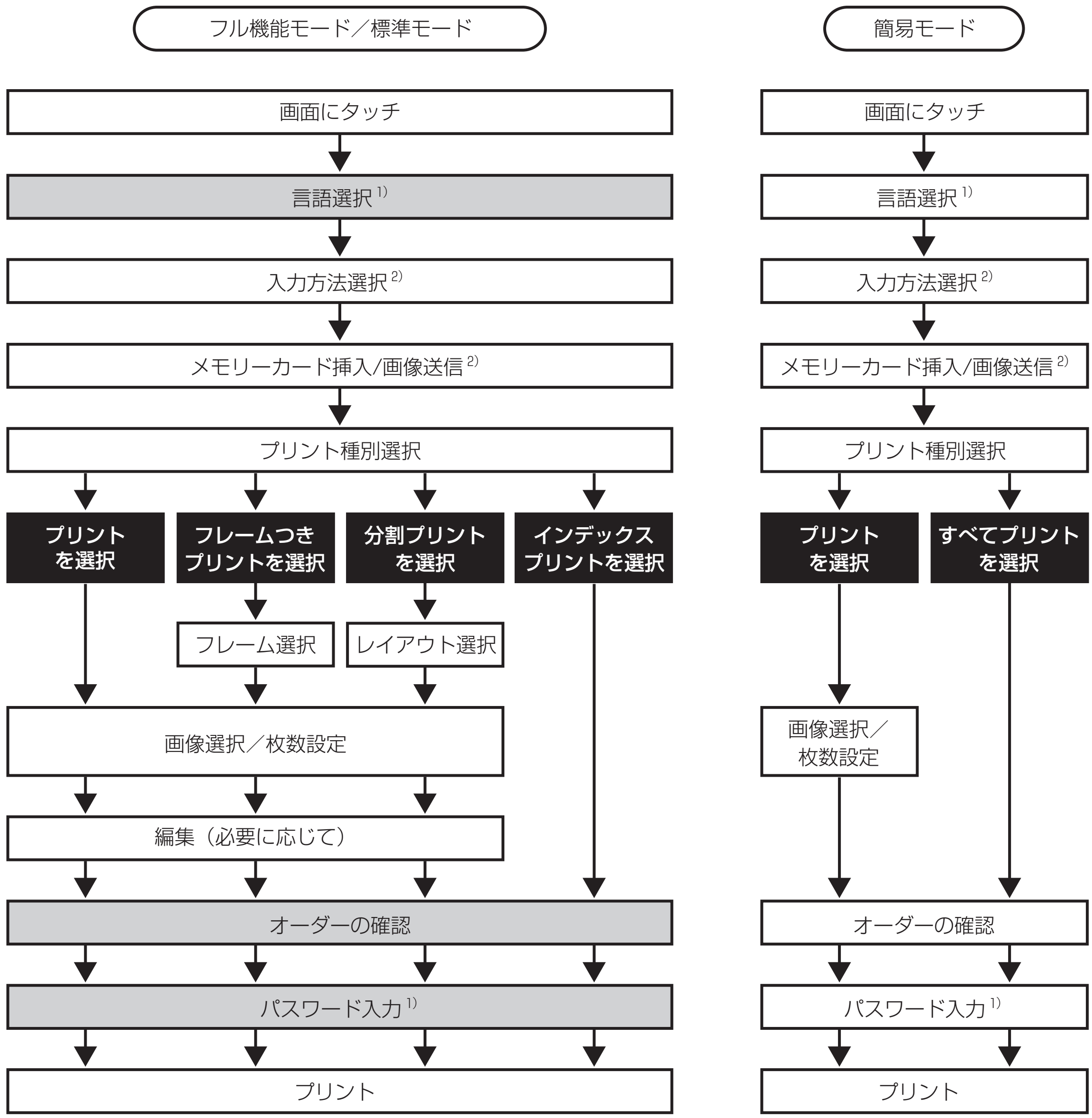
フレームつきプリント

画像にさまざまなフレームを合成してプリントします。
フル機能モードおよび標準モードで選択できます。

すべてプリント

メモリーカード内の全画像を画像を一括プリントします。
画像を選択する操作がいりません。
簡易モードで選択できます。

操作の流れ



□：標準モードでは不要です。
1)：設定によっては不要になることがあります。
2)：Bluetooth通信が使用できるときに必要です。

メモリーカードをセットする

本機は、次のメモリーカードから画像データを読み込むことができます。
- “メモリースティック”
- コンパクトフラッシュ
- スマートメディア
- SD カード
- マルチメディアカード
- xD- ピクチャーカード

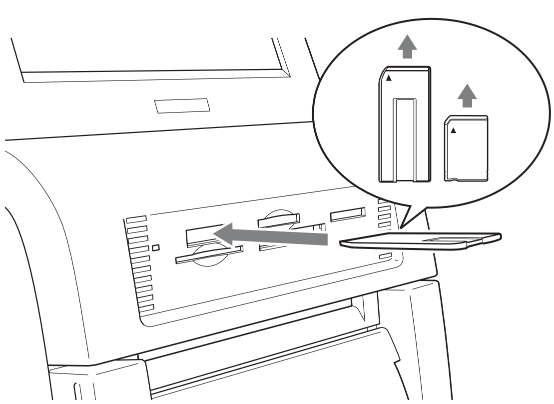
ご注意

- メモリーカードは、記録されているデータのバックアップを作成してから使用してください。
- 同時に複数のメモリーカードを挿入して使用することはできません。
- コンパクトフラッシュ型アダプターに“メモリースティック”やスマートメディア、SD カード、マルチメディアカードなどを装着して、コンパクトフラッシュ用スロットにセットしないでください。各カードに記録されている画像データが消えたり、本機が動作しなくなる可能性があります。

“メモリースティック”を使用する

“メモリースティック”のセットのしかた

“メモリースティック”用スロットに、▲マークのある面を上に、“メモリースティック”を奥までまっすぐ差し込みます。



“メモリースティック”がセットされたことが自動的に認識されます。

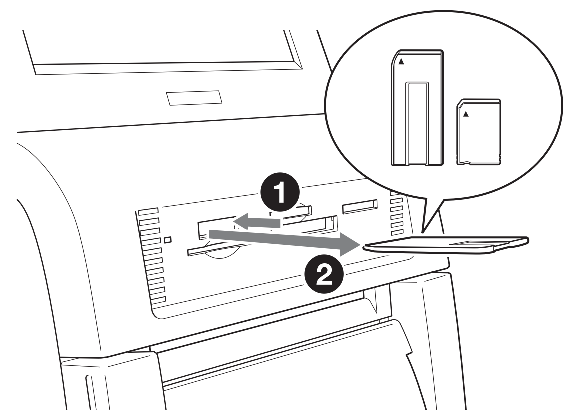
“メモリースティック Duo”もアダプターなしで使用できます。“メモリースティック”と同様に、▲マークのある面を上にして差し込みます。

ご注意

“メモリースティック Duo”アダプターは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

“メモリースティック”の取り出しかた

“メモリースティック”を取り出すようメッセージが表示されたら、“メモリースティック”を 1 度奥に押し込み (❶)、まっすぐ引き抜きます (❷)。



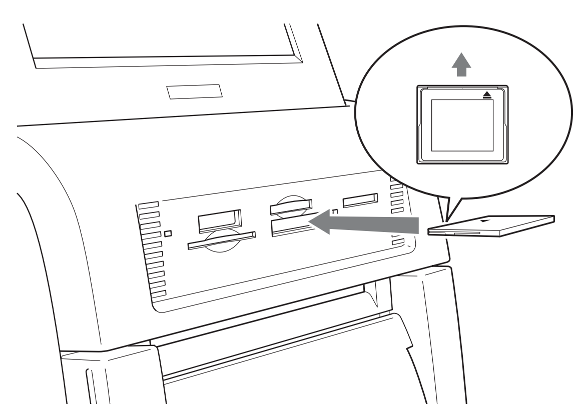
ご注意

“メモリースティック”を取り出すようメッセージが表示されるまでは、“メモリースティック”を取り出さないでください。“メモリースティック”に記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。

コンパクトフラッシュを使用する

コンパクトフラッシュのセットのしかた

コンパクトフラッシュ用スロットに、▲マークのある面を上に、コンパクトフラッシュを奥までまっすぐ差し込みます。



コンパクトフラッシュがセットされたことが自動的に認識されます。

ご注意

セットする前に、必ずコンパクトフラッシュの向きを確認してください。向きを間違えて押し込むと、内部の端子が破損して故障の原因になります。

コンパクトフラッシュの取り出しかた

コンパクトフラッシュを取り出すようメッセージが表示されたら、コンパクトフラッシュをまっすぐに引き抜きます。

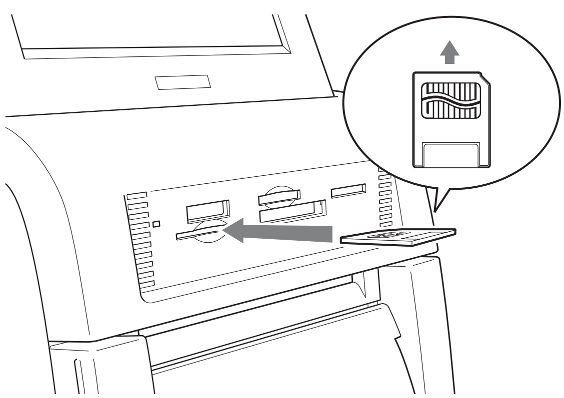
ご注意

コンパクトフラッシュを取り出すようメッセージが表示されるまでは、コンパクトフラッシュを取り出さないでください。コンパクトフラッシュに記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。

スマートメディアを使用する

スマートメディアのセットのしかた

スマートメディア用スロットに、端子のある面を上に、スマートメディアを奥までまっすぐ差し込みます。



スマートメディアがセットされたことが自動的に認識されます。

スマートメディアの取り出しかた

スマートメディアを取り出すようメッセージが表示されたら、スマートメディアを 1 度奥に押し込み、まっすぐに引き抜きます。

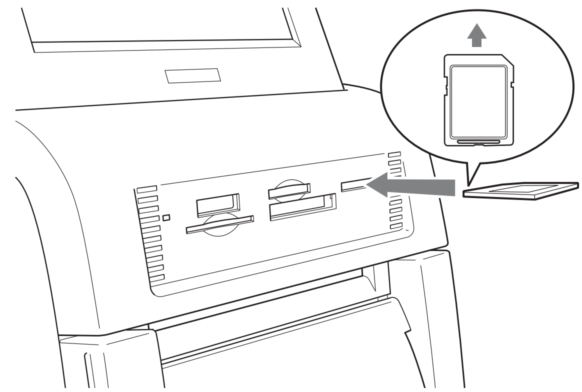
ご注意

スマートメディアを取り出すようメッセージが表示されるまでは、スマートメディアを取り出さないでください。スマートメディアに記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。

SD カード／マルチメディアカードを使用する

SD カード／マルチメディアカードのセットのしかた

SD カード／マルチメディアカード用スロットに、切り欠きを右側奥に合わせて SD カード／マルチメディアカードを奥までまっすぐ差し込みます。



SD カード／マルチメディアカードがセットされたことが自動的に認識されます。

SD カード／マルチメディアカードの取り出しかた

SD カード／マルチメディアカードを取り出すようメッセージが表示されたら、SD カード／マルチメディアカードを 1 度奥に押し込み、まっすぐ引き抜きます。

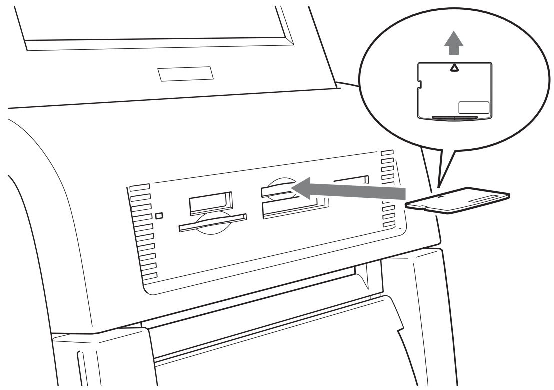
ご注意

- SD カード／マルチメディアカードを取り出すようメッセージが表示されるまでは、SD カード／マルチメディアカードを取り出さないでください。SD カード／マルチメディアカードに記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。
- miniSD カードをお使いになるときは､専用の miniSD カードアダプターを使用してください。miniSD カードをそのままカードスロットに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。

xD- ピクチャーカードを使用する

xD- ピクチャーカードのセットのしかた

xD- ピクチャーカード用スロットに、▲マークのある面を上に、xD- ピクチャーカードが止まるまで奥にまっすぐ差し込みます。



xD- ピクチャーカードがセットされたことが自動的に認識されます。

xD- ピクチャーカードの取り出しかた

xD- ピクチャーカードを取り出すようメッセージが表示されたら、xD- ピクチャーカードを 1 度奥に押し込み、まっすぐに引き抜きます。

ご注意

xD- ピクチャーカードを取り出すようメッセージが表示されるまでは、xD- ピクチャーカードを取り出さないでください。xD- ピクチャーカードに記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。

Bluetooth 通信を使用する

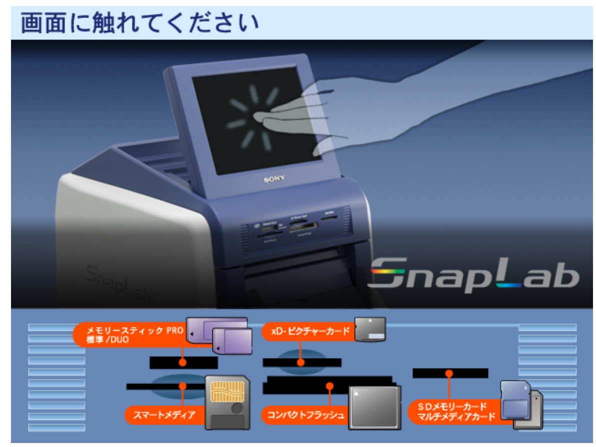
別売りの Bluetooth USB アダプターを使用すると、携帯電話などの Bluetooth 対応機器からワイヤレスで画像を転送できます。Bluetooth 通信を使った転送について詳しくは、「Bluetooth® 通信を使ってプリントする」（51 ページ）をご覧ください。

なお、以降のプリント操作の手順では、メモリーカードの画像を例に説明します。Bluetooth 通信を使って転送した画像の場合も、同様の手順でプリントできます。

画像を選んでプリントする

挿入したメモリーカードの中からお好みの画像を選んでプリントします。
この操作は、どのモードでお使いのときでも実行できます。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合、および管理画面で言語を 1 つしか設定していない場合は、言語の選択画面が表示されず、メインメニューが表示されます。その場合は、手順 3 に進んでください。

2 使用する言語にタッチする。



本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んでから、［OK］ボタンにタッチしてください。
Bluetooth USB アダプターが差し込まれていて Bluetooth 通信が使用できるときは、デバイス選択画面が表示されます。［メモリーカード］にタッチしてください。

メモ

次のボタンは、この後の画面に共通して表示されます。必要に応じてタッチしてください。
- ［中止］：手順１のスタート画面を表示します。
- ［メインメニュー］：手順４のメインメニューを表示します。
- ［ヘルプ］：その画面の操作説明を表示します。

3 本機前面のスロットにメモリーカードを挿入する。

メモリーカードが認識されると、メインメニューが表示されます。

4 ［プリント］にタッチする。



メモリーカードに記録されている画像の一覧が表示されます。

5 プリントしたい画像にタッチして選択する。



選択を取り消すときは、画像にもう一度タッチします。すべての画像を選択したいときは、［全選択］ボタンにタッチします。
一覧表示が１ページに収まらない場合は、［◀］［▶］ボタンにタッチすると、ページが切り替わります。

メモ

この画面で［日付］ボタンにタッチすると、プリントするすべての画像に撮影日を入れることができます。詳しくは、「日付を入れてプリントする」（50 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機に未対応の画像や壊れている画像は、次のアイコンで表示されます。



- 縦横どちらかが 480 ピクセル以下の画像は、小さいサムネイル画像で表示されます。このような画像は、低解像度のため充分な画質でプリントできないことがあります。
- メモリーカード内の画像数とメモリーカードの種類によっては、読み込み速度が大きく低下し、正常に読み込めないことがあります。

6 プリントする枚数を指定する。

［＋］［－］ボタンにタッチして、枚数を指定します。



各画像のプリント枚数は、サムネイル画像の右上に表示されます。
個別に枚数を指定したいときは、枚数を変更したい画像のサムネイルにタッチしてから、［＋］［－］ボタンにタッチします。
［全選択］ボタンが選択されている場合は、［＋］［－］ボタンにタッチすると、すべての画像のプリント枚数が増減します。

メモ

DPOF に対応したデジタルカメラをお使いの場合は、あらかじめプリントする画像や枚数をデジタルカメラで指定しておくことができます。詳しくは、「DPOF の設定を使ってプリントする」（51 ページ）をご覧ください。

編集をせずにすぐプリントするときは、手順 9 に進みます。画像を編集したいときは、手順 7 に進みます。なお、簡易モードでお使いの場合は、編集はできません。

7 画像を拡大表示したいときは、ボタンにタッチする。



プレビュー画面が表示されます。

8 画像を編集したいときは、［画像編集］ボタンにタッチする。



編集メニューが表示されます。編集メニューからは、切り抜き・回転、画質調整、赤目補正、セピア / モノクロの設定ができます。



編集方法について詳しくは、「画像を編集する」（47 ページ）をご覧ください。

9 ［プリント］ボタンにタッチする。



オーダー内容が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合は、オーダー内容が表示されず、プリントが開始されます。

オーダー内容を確認し、パスワードを入力する

1 プリントの枚数や料金などを確認し、［プリントスタート］ボタンにタッチする。



画面の右側にテンキーが表示されます。

メモ

管理画面でパスワード（またはバジェットコード）の入力を要求しない設定になっている場合は、［プリントスタート］ボタンにタッチするとすぐプリントが開始されます。

2 パスワードを入力し、［OK］ボタンにタッチする。

画面上のテンキーを使って、数字 4 けたのパスワードを入力します。オーダー確認パスワード、管理者パスワードのどちらでもかまいません。

メモ

管理画面でバジェットコードの入力を要求するように設定されている場合は、パスワードの代わりにバジェットコードを入力して、［OK］ボタンにタッチします。



プリントが開始されます。プリントするデータの読み込みが終了すると、メモリーカードを抜くようメッセージが表示されますので、メモリーカードをスロットから抜いてください。

ご注意

メッセージが表示されるまでは、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードに記録されている画像が消えたり、壊れることがあります。また、プリント中に拡張コンパクトフラッシュを抜き差しすると、正常にプリントできないことがあります。

メモ

本機の管理画面でパスワードファイルを作成しメモリーカードに保存しておくと、画面上のテンキーを使わず、メモリーカードを本機に挿入することでパスワードを入力できます。詳しくは、「メモリーカードを使ってパスワードを入力する（リモートパスワード入力）」（53 ページ）をご覧ください。

インデックスをプリントする

メモリーカード内に記録されているすべての画像を縮小して並べ、プリントします。
1枚のプリント紙には、最大で次に示す枚数の画像がプリントできます。

- L：30枚
- はがき：35枚
- 2L：56枚

この操作は、フル機能モードか標準モードでお使いのときに実行できます。

ご注意

最大ピクセル数（横8,000×縦6,000ピクセル）を超えるExif画像も、インデックスにはプリントできます。ただし、インデックスプリント以外の機能では、本機未対応の画像として次のアイコンで表示され、プリントできません。



1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合、および管理画面で言語を1つしか設定していない場合は、言語の選択画面が表示されず、メインメニューが表示されます。その場合は、手順3に進んでください。

2 使用する言語にタッチする。



本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んでから、［OK］ボタンにタッチしてください。
Bluetooth USBアダプターが差し込まれていてBluetooth通信が使用できるときは、デバイス選択画面が表示されます。［メモリーカード］にタッチしてください。

3 本機前面のスロットにメモリーカードを挿入する。

メモリーカードが認識されると、メインメニューが表示されます。

4 ［インデックスプリント］にタッチする。



オーダー内容が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合は、オーダー内容が表示されず、プリントが開始されます。

5 オーダー内容を確認し、パスワードを入力する。

詳しい操作については、「オーダー内容を確認し、パスワードを入力する」（39ページ）をご覧ください。

分割プリントする

1 枚のプリント紙に複数の画像を割り付けてプリントします。
また、証明写真のように、1 枚の画像を定型サイズに並べて分割プリントすることもできます。
この操作は、フル機能モードか標準モードでお使いのときに実行できます。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合、および管理画面で言語を 1 つしか設定していない場合は、言語の選択画面が表示されず、メインメニューが表示されます。その場合は、手順 3 に進んでください。

2 使用する言語にタッチする。



本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んでから、[OK] ボタンにタッチしてください。

Bluetooth USB アダプターが差し込まれていて Bluetooth 通信が使用できるときは、デバイス選択画面が表示されます。[メモリーカード] にタッチしてください。

3 本機前面のスロットにメモリーカードを挿入する。

メモリーカードが認識されると、メインメニューが表示されます。

4 「分割プリント」にタッチする。



分割プリントのレイアウト選択画面が表示されます。

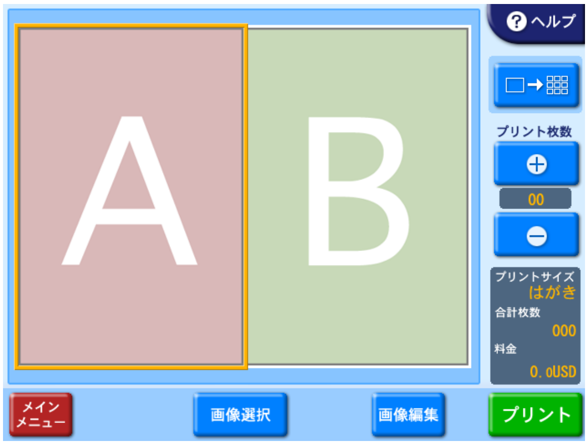
5 お好みのレイアウトにタッチして選択し、[OK] ボタンにタッチする。

証明写真用にプリントする場合は、用途に合ったサイズのレイアウトを選択してください。
レイアウト中で、枠内に同じ英字が書かれている箇所には、同じ画像が入ります。



プレビュー画面が表示されます。

6 レイアウト枠にタッチする。



メモリーカードに記録されている画像の一覧が表示されます。

7 割り付けたい画像にタッチして選択し、[OK] ボタンにタッチする。



プレビュー画面に戻ります。
複数の画像を割り付けるときは、手順 6、手順 7 を割り付ける画像の数だけ行います。
いったん選択した画像を変更したいときは、その画像にタッチしてから、[画像選択] ボタンにタッチすると、画像を選択し直すことができます。

8 プリントする枚数を指定する。

[+] [−] ボタンにタッチして、枚数を指定します。



編集をせずにすぐプリントするときは、手順 10 に進みます。画像を編集したいときは、手順 9 に進みます。

9 画像を編集したいときは、画像を選択してから、[画像編集] ボタンにタッチする。



編集メニューが表示されます。編集メニューからは、切り抜き・回転、画質調整、赤目補正、セピア / モノクロの設定ができます。



編集方法について詳しくは、「画像を編集する」(47 ページ)をご覧ください。

10［プリント］ボタンにタッチする。



オーダー内容が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合は、オーダー内容が表示されず、プリントが開始されます。

11 オーダー内容を確認し、パスワードを入力する。

詳しい操作については、「オーダー内容を確認し、パスワードを入力する」（39 ページ）をご覧ください。

フレームを合成してプリントする

メモリーカードに記録された画像に、フレームや文字を合成してプリントできます。
この操作は、フル機能モードか標準モードでお使いのときに実行できます。
なお、この機能を使用するときは、拡張コンパクトフラッシュがセットされている必要があります。
画像に合成するフレームや文字は、管理画面で追加できます。詳しくは、「テンプレートタブ」（27 ページ）をご覧ください。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合、および管理画面で言語を1つしか設定していない場合は、言語の選択画面が表示されず、メインメニューが表示されます。その場合は、手順 3 に進んでください。

第 4 章　操作

2 使用する言語にタッチする。



本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んでから、［OK］ボタンにタッチしてください。
Bluetooth USB アダプターが差し込まれていてBluetooth 通信が使用できるときは、デバイス選択画面が表示されます。［メモリーカード］にタッチしてください。

3 本機前面のスロットにメモリーカードを挿入する。

メモリーカードが認識されると、メインメニューが表示されます。

4 「フレームつきプリント」にタッチする。



フレームの選択画面が表示されます。

5 使用したいフレームにタッチして選択し、［OK］ボタンにタッチする。



フレームを拡大表示したいときは、ボタンにタッチします。

メモリーカードに記録されている画像の一覧が表示されます。

6 プリントしたい画像にタッチして選択する。



選択を取り消すときは、画像にもう一度タッチします。
すべての画像を選択したいときは、［全選択］ボタンにタッチします。
一覧表示が 1 ページに収まらない場合は、［◀］［▶］ボタンにタッチすると、ページが切り替わります。

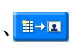
7 プリントする枚数を指定する。

［＋］［－］ボタンにタッチして、枚数を指定します。



［全選択］ボタンが選択されている場合は、［＋］［－］ボタンにタッチすると、すべての画像のプリント枚数が増減します。
各画像のプリント枚数は、サムネイル画像の右上に表示されます。

編集をせずにすぐプリントするときは、手順 10 に進みます。画像を編集したいときは、手順 8 に進みます。

8 画像を拡大表示したいときは、ボタンにタッチする。



プレビュー画面が表示されます。

9 編集したいときは、［画像編集］ボタンにタッチする。



編集メニューが表示されます。編集メニューからは、切り抜き・回転、画質調整、赤目補正、セピア／モノクロの設定ができます。



編集メニューでの編集方法について詳しくは、「画像を編集する」（47 ページ）をご覧ください。

10［プリント］ボタンにタッチする。



オーダー内容が表示されます。

メモ

標準モードでお使いの場合は、オーダー内容が表示されず、プリントが開始されます。

11 オーダー内容を確認し、パスワードを入力する。

詳しい操作については、「オーダー内容を確認し、パスワードを入力する」（39 ページ）をご覧ください。

メモリーカード内のすべての画像をプリントする

メモリーカードに記録されているすべての画像を 1 枚ずつプリントします。
この操作は、簡易モードでお使いのときに実行できます。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

メモ

管理画面で言語を 1 つしか設定していない場合は、言語の選択画面が表示されず、メインメニューが表示されます。その場合は、手順 3 に進んでください。

2 使用する言語にタッチする。



本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んでから、［OK］ボタンにタッチしてください。

Bluetooth USB アダプターが差し込まれていて Bluetooth 通信が使用できるときは、デバイス選択画面が表示されます。［メモリーカード］にタッチしてください。

3 本機前面のスロットにメモリーカードを挿入する。

メモリーカードが認識されると、メインメニューが表示されます。

4 「すべてプリント」にタッチする。



オーダー内容が表示されます。

5 オーダー内容を確認し、パスワードを入力する。

詳しい操作については、「オーダー内容を確認し、パスワードを入力する」（39 ページ）をご覧ください。

メモリーカード内の画像の数が、1 回のオーダーでプリントできる枚数の上限より多いときは、メインメニューの後に、プリント枚数の上限まで画像が選択された状態で画像の一覧が表示されます。そのままプリントするか、画像を選択し直してプリントしてください。

画像を編集する

編集メニューから、次の編集作業ができます。

- 切り抜き・回転 （48 ページ）
- 画質調整 （49 ページ）
- セピア / モノクロプリント （49 ページ）
- 赤目補正 （49 ページ）

画像の編集は、次の手順で行います。

1 ［画像編集］ボタンにタッチする。

編集メニューが表示されます。

2 編集したい項目にタッチする。



各編集画面が表示されます。各編集画面での操作については、この後の項目をご覧ください。

3 編集が終了したら、各編集画面の［OK］ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

編集した画像には、画像の一覧画面で鉛筆のマークが表示されます。

編集を取り消すには

いったん編集した画像を編集前の状態に戻すことができます。

1 画像一覧画面で編集済みの画像を選択し、［画像編集］ボタンにタッチする。

編集メニューが表示されます。

2 ［元に戻す］ボタンにタッチする。

確認のメッセージが表示されるので、［はい］ボタンにタッチします。
選択した画像の編集結果が取り消され、編集メニューに戻ります。

レイアウトを指定する（切り抜き・回転）

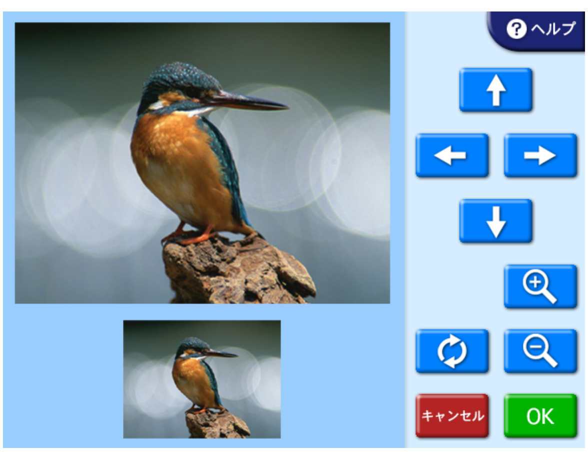
画像の一部をトリミングしたり、回転させることでプリントする画像の構図を変えることができます。

画像をトリミングするには

画像を拡大・縮小および移動させることで、画像のトリミングができます。

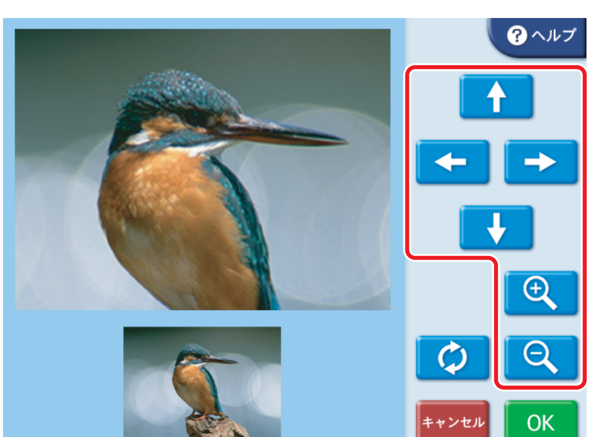
1 編集メニューで、［切抜き・回転］にタッチする。

次の画面が表示されます。



2 ボタンにタッチして、画像の大きさを調整する。

3 矢印ボタンにタッチして、位置を指定する。



4 手順 2 と 3 を繰り返し、プリントしたい構図にする。

5 構図が決まったら、［OK］ボタンにタッチする。

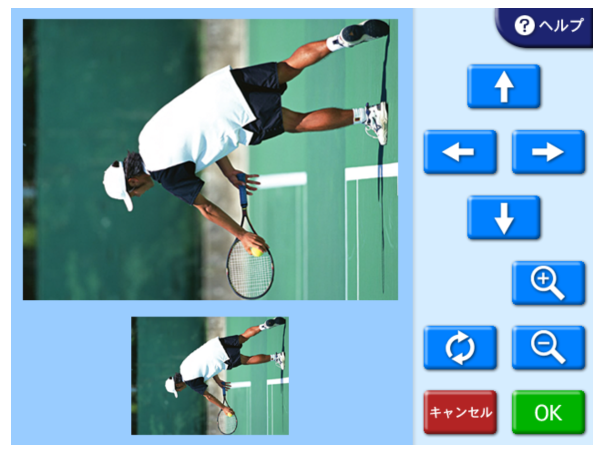
元の画面に戻ります。

画像を回転させるには

画像を 90 度ずつ回転できます。

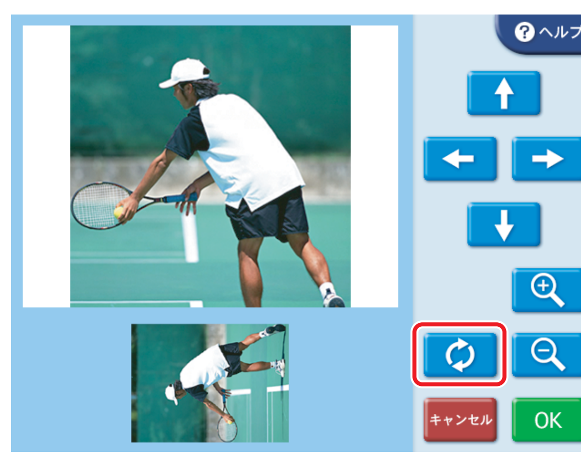
1 編集メニューで、［切抜き・回転］にタッチする。

次の画面が表示されます。



2 ボタンにタッチする。

1 回タッチするごとに、画像が時計回りに 90 度回転します。



3 画像の向きが決まったら、［OK］ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

画質を調整する

次の項目を調整できます。
- 明るさ
- 色合い
- 色の濃さ
- シャープネス

1 編集メニューで、［画質調整］にタッチする。

次の画面が表示されます。



2 各項目の［◀］［▶］ボタンにタッチして、画質を調整する。

各項目とも、± 8 段階の調整ができます。
調整を取り消すときは、［キャンセル］ボタンにタッチします。

3 画質の調整が完了したら［OK］ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

セピアやモノクロでプリントする

画像の色をセピアやモノクロにしてプリントします。

1 編集メニューで、［セピア / モノクロ］にタッチする。

次の画面が表示されます。



2 ［セピア］または［モノクロ］にタッチする。

選択を取り消すには、もう一度同じボタンにタッチします。

3 ［OK］ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

赤目を補正する

ストロボ撮影のときに起こった「赤目」を、目立たないように補正します。

ご注意

赤目補正後に切り抜き・回転を行うと、赤目補正が無効になります。
赤目補正は、切り抜き・回転のあとに行ってください。

1 編集メニューで［赤目補正］にタッチする。

次の画面が表示されます。画像の中央に補正用の枠線が表示されます。



2 矢印ボタンを使って枠線を移動し、瞳の位置に合わせる。

3 ボタンを使って、枠内に瞳が収まるようにする。



4 ボタンにタッチする。

補正処理が行われます。補正した結果は、画面下の小さい画像で確認してください。
補正を取り消すときは、ボタンにタッチします。
赤目補正は、赤目を1つずつ選んで実行してください。

ご注意

画像によっては、充分に補正されないことがあります。

5 ［OK］ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

赤目補正をしても、補正結果はプレビュー画面に反映されません。赤目補正をした画像を選択したときは、プレビュー画面の下部にマークが表示されます。

日付を入れてプリントする

プリントする画像に撮影した日付を入れることができます。この機能は、メインメニューで［プリント］または［フレームつきプリント］を選択したときに使用できます。
日付を入れてプリントするには、画像データが Exif 2.0 以上に準拠している必要があります。

1 画像の一覧画面で、［日付］ボタンにタッチする。



プリントするすべての画像に日付が入ります。
取り消すときは、もう一度［日付］ボタンにタッチします。

プリントする日付のフォーマットは、管理画面で変更できます。詳しくは、「プリンターの設定タブ」（28 ページ）をご覧ください。

DPOF の設定を使ってプリントする

DPOF に対応したデジタルカメラをお使いの場合は、あらかじめプリントする画像や枚数をデジタルカメラで指定できます。
デジタルカメラでプリントする画像や枚数を指定し、そのメモリーカードを本機のスロットに入れると、デジタルカメラでの指定が自動的に読み込まれます。そのため、本機では画像の選択や枚数の設定の操作が不要になり、すばやくプリントできます。
デジタルカメラで指定した枚数が、本機の 1 回のオーダーでプリントできる枚数の上限より多いときは、プリント枚数の上限まで画像が選択された状態で画像の一覧が表示されます。そのままプリントするか、画像を選択し直してプリントしてください。
この機能は、メインメニューで［プリント］か［すべてプリント］を選択した場合に有効です。

メモ

DPOF（Digital Print Order Format）は、デジタルカメラで撮影した画像を、自動的にプリントするための規格です。DPOF 対応のプリントカメラでは、プリントしたい画像や枚数などの情報をメモリーカードに記録でき、その情報を DPOF に対応したフォトプリンターで読み取ることで、手軽にプリントできます。

ご注意

設定できる情報や操作は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 通信を使ってプリントする

別売りの Bluetooth USB アダプター[1] を使用すると、携帯電話などの Bluetooth 対応機器からワイヤレスで画像を転送してプリントできます。Bluetooth 通信を使って画像を転送した場合も、メモリーカードから読み込んでプリントする場合と同様のプリントサービスが利用できます。

1) ご使用になれる Bluetooth USB アダプターについては、「仕様」の「別売り品」（66 ページ）をご覧ください。

Bluetooth 通信の準備をする

Bluetooth 通信を使ってプリントする場合は、次のことを確認してください。

- 拡張コンパクトフラッシュが挿入されていること。
  拡張コンパクトフラッシュについては、「拡張コンパクトフラッシュを準備する」（20 ページ）をご覧ください。
- 本機のファームウェアのバージョンが 2.0 以上であること。
  ファームウェアのバージョンは、管理画面の管理タブでシステム履歴を表示させると確認できます。詳しくは、「管理タブ」（30 ページ）をご覧ください。

アダプターを差し込む

Bluetooth USB アダプター（別売）を、本機背面の USB 端子（ホスト）に差し込みます。

Bluetooth 通信を行うための条件

対応プロファイル

本製品は、以下のプロファイルに対応しています。

- BIP（Basic Imaging Profile）
- OPP（Object Push Profile）

ご使用の Bluetooth 対応機器の対応プロファイルについては、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

プロファイルとは？

Bluetooth 通信を行うための規格です。使用目的やお使いになる製品の特性によって、いくつかのプロファイルがあります。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器が共通のプロファイルに対応している必要があります。

プリント可能なファイルフォーマット

JPEG: DCF 2.0 準拠、Exif 2.21 準拠、JFIF（4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン JPEG）
TIFF: Exif 2.21 準拠
BMP: 24 ビット Windows 形式
画像の形式によっては、対応できないことがあります。

扱える最大画素数

8,000 × 6,000 ドット
拡張コンパクトフラッシュの空き容量により、受信できる枚数は異なります。

Bluetooth 対応機器からプリントする

携帯電話などの Bluetooth 対応機器から画像を送信してプリントします。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

2 使用する言語にタッチする。



デバイスの選択画面が表示されます。

3 ［Bluetooth］にタッチする。

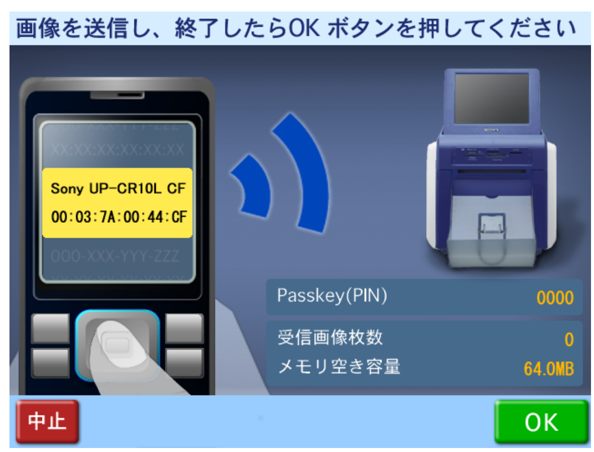


送信画面が表示されます。

4 Bluetooth 対応機器を操作して、画像を送信する。

画像の送信方法については、ご使用の Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 対応機器からプリンターを選択するときは、「SONY UP-CR10L ##」を選択してください。「##」には、本機の画面に表示された Bluetooth アドレスの右端の英数字が表示されます。下記の画面例では、「##」には「CF」が入ります。



送信された画像データを本機が受信します。受信した画像の数が本機の画面に表示されます。

ご使用の Bluetooth 対応機器がパスコード 1) の入力を要求する場合は、「0000」を入力してください。

1) パスコードは、パスキーや PIN コードと呼ばれることもあります。

ご注意

プリンターではパスコードを変更できません。

5 受信が完了したら、［OK］ボタンにタッチする。

画像を複数枚転送するときは、画像をすべて転送してから［OK］ボタンにタッチしてください。

メインメニューが表示されます。



メインメニュー以降は、メモリーカードを使った場合の操作と同じです。36 ページ以降のプリント操作の説明をご覧ください。

メモリーカードを使ってパスワードを入力する（リモートパスワード入力）

画面上のテンキーを使わず、メモリーカードを挿入することでパスワードを入力できます。
あらかじめ、本機の管理画面で作成したパスワードファイルをメモリーカードに保存しておき、パスワードの入力を求められたときに USB ポートに接続したカードリーダー[1] にメモリーカードを挿入すると、ファイルに記録したパスワードが自動的に読み込まれます。
本機のメモリーカードスロットや USB 端子（ホスト）にパスワードファイルが保存されたメモリーカードや USB フラッシュメモリーを直接差し込んでもご使用になれます。

1) すべてのカードリーダーおよび USB フラッシュメモリーとの接続を保証するものではありません。
USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

パスワードファイルを作成する

1 拡張コンパクトフラッシュを拡張コンパクトフラッシュ用スロットに挿入する。

2 管理画面の管理タブを開き、オーダー確認パスワードを設定する。



詳しくは、「管理タブ」（30 ページ）をご覧ください。

3 ［OK］ボタンにタッチする。

パスワードファイルが、拡張コンパクトフラッシュのルートフォルダに snaplab.txt という名称で作成されます。同じ名称のファイルがある場合は、上書きされます。
ファイルには、次のように記述されています。

```
[password]
pass=****
```

1) **** = 設定したパスワード

4 拡張コンパクトフラッシュを抜き、使用するメモリーカードのルートフォルダにパスワードファイルをコピーする。

拡張コンパクトフラッシュに保存したままでは、パスワードファイルは使用できません。

ご注意

管理者パスワードの設定時には、パスワードファイルは出力されません。

メモリーカードを使ってパスワードを入力する

1 USB 端子（ホスト）にカードリーダーを接続する。

2 プリント操作でパスワード確認画面が表示されたら、パスワードファイルを保存したメモリーカードをカードリーダーに挿入する。



パスワードファイルが読み込まれ、プリントが開始されたら、パスワードファイルを保存したメモリーカードを抜いてください。

ご注意

パスワードファイルを保存したメモリーカードは、パスワード確認画面が表示されてから挿入してください。あらかじめメモリーカードが挿入されている場合は、パスワードファイルが読み込まれません。必ず、プリントのたびにメモリーカードを挿入してください。

パソコンからプリントする

市販のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、パソコンから送ったデータを本機のプリンターでプリントできます。
USBケーブルを接続しているときは、本機の画面に「パソコン接続モード」と表示され、タッチパネルでの操作はできません。
パソコンからプリントするには、管理画面のシステムタブで、［パソコン接続］が［オン］に設定されている必要があります。

プリンタードライバーをインストールする

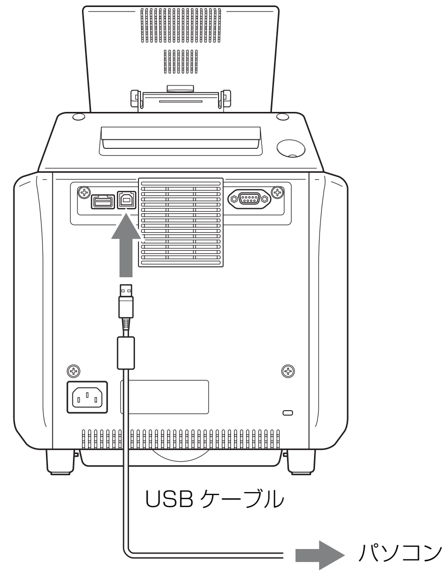
パソコンから本機を操作する場合は、パソコンと本機を接続する前に、付属のプリンタードライバーをパソコンにインストールします。インストールのしかたについては、付属のCD-ROMに収録されているインストールガイド、および「Readme (Japanese)」をお読みください。

ご注意

付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応しておりません。

パソコンと接続する

パソコンから本機を操作する場合は、市販のUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。USBケーブルは、本機背面のUSB端子（デバイス）に接続します。
接続については、パソコンの取扱説明書も併せてご覧ください。



ご注意

USBハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

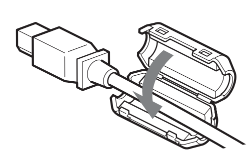
USBケーブルにフェライトコアを取り付けるには

USBケーブルを接続する前に､付属のノイズ防止用フェライトコアを取り付けてください。
VCCI規格に適合させるために、付属のフェライトコアをUSBケーブルに図のように取り付けて使用してください。

1 ストッパー（2か所）をはずし、フェライトコアを開ける。

2 USBケーブルの本機側に接続される側の根元にフェライトコアを取り付ける。

3 ストッパーがかかるまで､フェライトコアを閉める。



ご注意

USBケーブルが細く、フェライトコアをきちんと固定できない場合は､テープなどで固定してください。

第4章 操作

付録

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。傾けたり、横にしたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  －不安定なところ
  －ほこりの多いところ
  －極端に寒いところや暑いところ
  －振動の多いところ
  －湿気の多いところ
  －直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

長い間ご使用にならないときは

- オン / スタンバイボタンでスタンバイ状態にし、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封し、使用してください。

輸送するときは

本機を輸送する際は、付属品やメモリーカード、リボンカートリッジ、プリント紙を取りはずしてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。
取りはずしたリボンカートリッジとプリント紙は製品が入っていた袋に入れて保存してください。

結露について

- 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴が付くことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、オン / スタンバイボタンでスタンバイ状態にし、しばらくそのまま放置しておいてください。
- 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、リボンカートリッジやプリント紙に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

対応するメモリーカードとファイルフォーマットについて

対応メモリーカード

本機は、次のメモリーカードに対応しています。
- “メモリースティック”
- “メモリースティック PRO”
- “メモリースティック Duo”
- スマートメディア
- コンパクトフラッシュ
- SD カード
- マルチメディアカード
- xD- ピクチャーカード

“メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック Duo”について詳しくは、「“メモリースティック”について」（57 ページ）をご覧ください。
それ以外のメモリーカードについて詳しくは、「“メモリースティック”以外のメモリーカードについて」（58 ページ）をご覧ください。

対応ファイルフォーマット

本機は、次のファイルフォーマットに対応しています。本機で読み込めるデータのサイズは、最大 8,000 × 6,000 ピクセルです。
- JPEG
  JFIF 4:4:4, 4:2:2, 4:2:0（ベースライン JPEG）
  Exif 2.2.1 準拠
  DCF 2.0 準拠
- TIFF
  Exif 2.2.1 準拠（RGB 非圧縮）
- BMP
  24 ビット Windows 形式

（フォーマットのバージョンによっては、非対応のものもあります）
メモリーカード内のディレクトリーは 8 階層まで対応しています。1 回の操作で扱えるファイル数は、9,999 個までです。

“メモリースティック”について

本機は、“メモリースティック”に対応しています。“メモリースティック”に記録されている画像データは、バックアップを作成してから使用することをお勧めします。

ご注意

- 本機の使用中に、万一“メモリースティック”やデータが壊れても、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機では、32 GB までの“メモリースティック”メディアで動作確認を行っています。ただし、すべての“メモリースティック”メディアでの動作を保証するものではありません。
- 記録・再生できるファイルの容量は“メモリースティック”で採用しているファイルシステムの仕様上、1 ファイルにつき 4 GB 未満です。

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの 1 つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

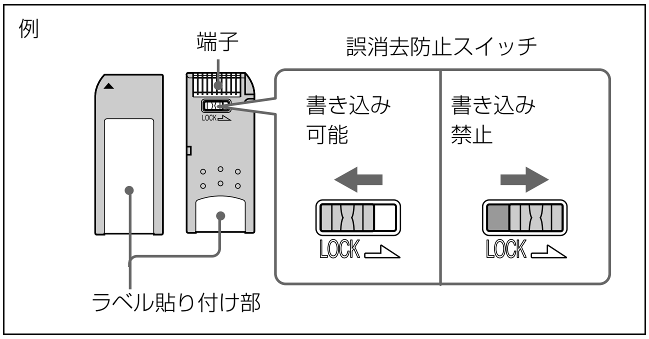
“メモリースティック”には、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“マジックゲートメモリースティック”と、搭載していない一般の“メモリースティック”の 2 種類があります。
本機では“マジックゲートメモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で表示するデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。
また、本機では“メモリースティック Duo”、“メモリースティック PRO”もご使用いただけます。

マジックゲートとは？

“MagicGate™”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。

“メモリースティック”のデータを書き込み禁止にするには

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には誤消去防止スイッチがついています。スイッチを左にスライドさせると、データの書き込み、消去、“メモリースティック”の初期化ができます。スイッチを右にスライドさせると、データの読み出しはできますが、書き込みはできません。本機の“メモリースティック”用スロットに入れて画像を読み込むときは、書き込み禁止にしておくことをお勧めします。



ご注意

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。

“メモリースティック”の初期化（フォーマット）について

お買い上げになった“メモリースティック”は、お使いになる前にデジタルカメラで初期化してください。パソコンなど、デジタルカメラ以外の機器で初期化した場合、本機で画像データを読み込めないときがあります。

“メモリースティック”使用上のご注意

- “メモリースティック”をお使いになる場合は、スロットに直接セットしてください。市販のコンパクトフラッシュ型アダプターに、“メモリースティック”をセットして使用しないでください。記録されている画像データが消えたり壊れることがあります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- “メモリースティック”のラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック Duo”使用上のご注意

- “メモリースティック Duo”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- 一部の“メモリースティック Duo”には誤消去防止スイッチが付いていません。誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック Duo”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようご注意ください。

“メモリースティック PRO”使用上のご注意

本機は“メモリースティック PRO”のアクセスコントロール機能に対応していません。

“メモリースティック”以外のメモリーカードについて

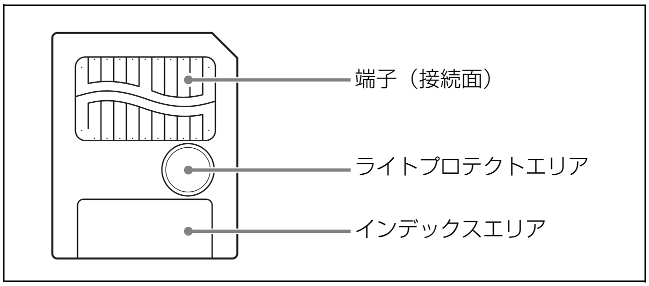
本機は、「スマートメディア」、「コンパクトフラッシュ」、「SD カード」、「マルチメディアカード」、「xD- ピクチャーカード」に対応しています。各メモリーカードに記録されている画像データは、バックアップを作成してから使用することをお勧めします。

ご注意

本機の使用中に、万一メモリーカードやデータが壊れても、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。

スマートメディアについて

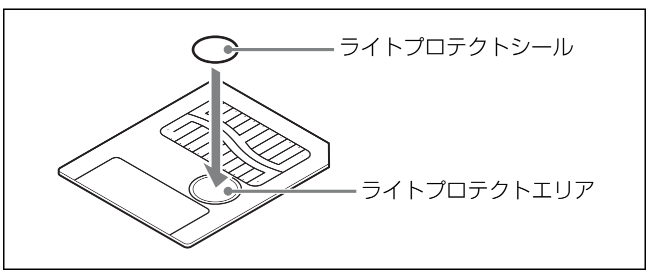
スマートメディアの各部の名称は、次のとおりです。



詳しくは、下記の SSFDC フォーラムホームページまたはお買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
http://www.ssfdc.or.jp/

スマートメディアのデータを書き込み禁止にするには

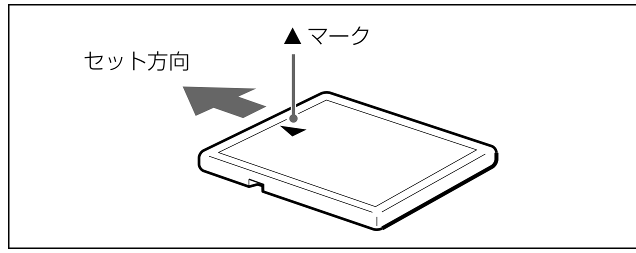
大切なデータを誤って消してしまうことのないように、スマートメディアへのデータの書き込みを禁止し、読み出し専用のカードにすることができます。
ライトプロテクトシールを、図の位置（ライトプロテクトエリア）に貼ってください。



- シールが貼られているときは、デジタルカメラで撮影できなくなります。
- 再び書き込みできるようにしたい場合は、シールをはがしてください。
- 一度貼ってはがしたシールは、再使用しないでください。本機の故障の原因となります。

コンパクトフラッシュについて

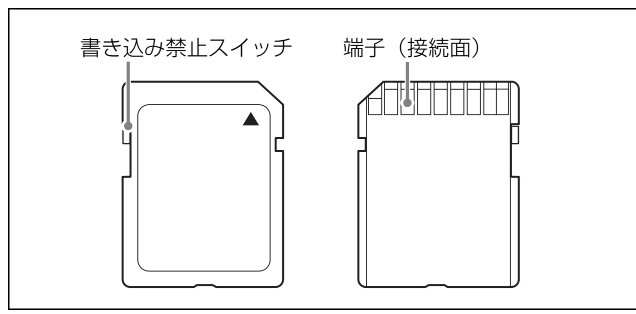
カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まずに、セット方向を確認してください。
図のように、▲マークをセット方向に合わせてセットしてください。



詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

SD カードについて

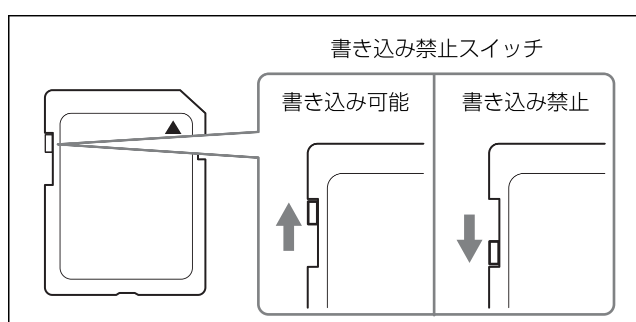
SD カードの各部の名称は、次のとおりです。



詳しくは、下記の SD アソシエーションホームページまたはお買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
http://www.sdcard-jp.com/

SD カードのデータを書き込み禁止にするには

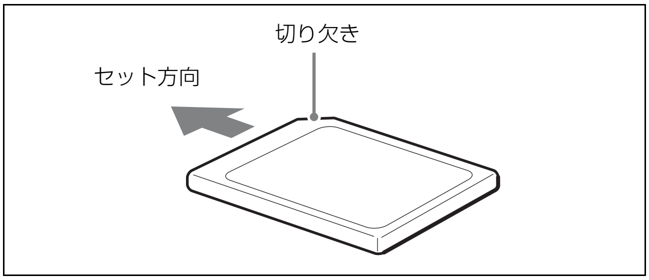
大切なデータを誤って消してしまうことのないように、SD カードへのデータの書き込みを禁止し、読み出し専用のカードにすることができます。
書き込み禁止スイッチを、図の位置にセットしてください。



書き込み禁止中は、デジタルカメラで撮影できなくなります。

マルチメディアカードについて

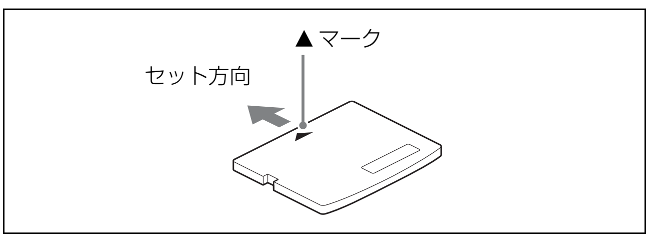
カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まずに、セット方向を確認してください。
図のように、切り欠きを右側奥に合わせてセットしてください。



詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

xD- ピクチャーカードについて

カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まずに、セット方向を確認してください。
図のように、▲ マークをセット方向に合わせてセットしてください。



詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

各カードの使用上のご注意

ご注意

ここでは、“メモリースティック”以外のメモリーカードの注意事項を説明しています。“メモリースティック”については、57 ページをご覧ください。

- 各カードをお使いになる前に、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- お買い上げになった各カードは、お使いになる前にデジタルカメラで初期化してください。パソコンなど、デジタルカメラ以外の機器で初期化した場合、本機で画像データを読み込めないときがあります。
- 指定以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- カードは湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようお勧めいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  －直射日光のあたる場所
  －湿気の多い場所や腐食性のある場所
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所
- スマートメディアやコンパクトフラッシュ、SD カード、マルチメディアカードの端子部に手や金属で触れないでください。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- スマートメディアや SD カード、マルチメディアカードをお使いになる場合は、対応する各スロットに直接セットしてください。市販のコンパクトフラッシュ型アダプターにこれらのカードを装着して使用しないでください。記録されている画像データが消えたり壊れることがあります。
- 各カードを本機にセットする前に、対応するスロットおよびカードのセット方向を必ず確認してください。カードを無理にセットすると、本機の故障の原因となります。
- データの読み込み中、書き込み中にカードを取りはずしたり、オン / スタンバイボタンを押さないでください。記録されているデータが消えたり壊れたりすることがあります。

クリーニング

プリンター内部のクリーニング

プリント画にスジやキズなどの汚れが見られるときは、プリンター内部のクリーニングで改善できることがあります。特に、図に示すような白いスジやキズが入るようになった場合は、クリーニングが効果的です。



プリントパック 2UPC-C14 を使って大量のプリントをしたあとに 2UPC-C13、2UPC-C15 を使用すると、白いスジが出やすくなります。また、サーマルヘッドにごみが付着していると、白いスジやキズが入ることがあります。このようなときは、本体付属のクリーニングカートリッジとプリントパックに付属のクリーニングシートを使用して、プリンター内部をクリーニングしてください。
なお、クリーニングカートリッジは繰り返し使用できます。

1 UP-CR10L の管理画面を表示させ、システムタブを選択する。

2 サイドドアを開けて、リボンカートリッジを取り出す。

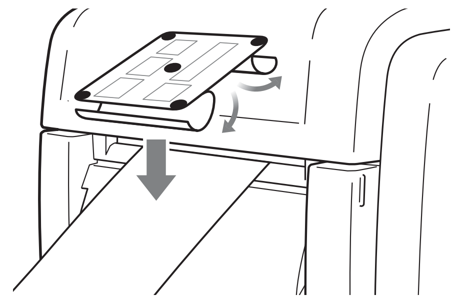
3 クリーニングカートリッジを奥まで挿入する。

4 システムタブで、 ボタンにタッチする。

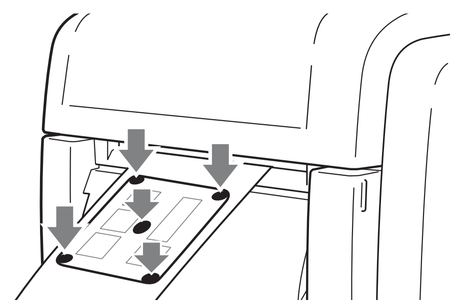
プリント紙が約 30 cm 排出され、画面にクリーニング開始のメッセージが表示されます。

5 クリーニングシートの裏面（イラストが印刷されていない面）の紙をはがす。

表裏を間違えないように注意してください。

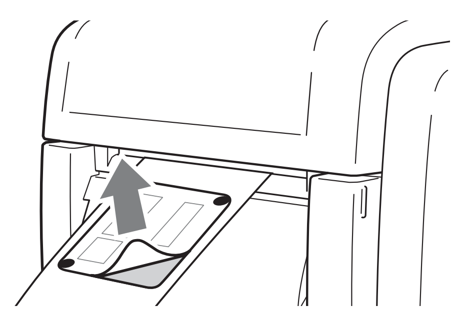


6 排出されているプリント紙の幅に合わせてクリーニングシートの向きを決め、図を参考に、全体を均等に貼り付ける。

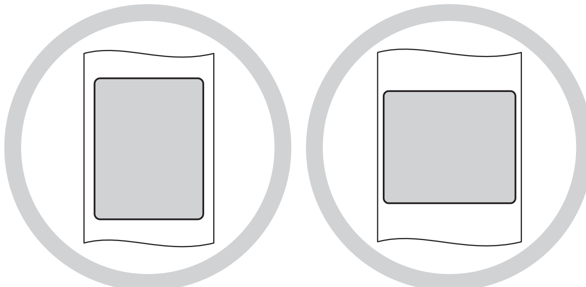


2UPC-C14 をお使いの場合は、シートを縦向きに貼り付けます。
貼り付けるときは、角がめくれたり、中央が浮き上がったりしないよう全体をしっかりと押さえつけてください。クリーニングシートがめくれていると、正常にクリーニングできない場合があります。

7 クリーニングシートの表面の紙をはがす。



8 クリーニングシートの粘着面が現れるので、四隅が浮いたりめくれたりしていないことを確認する。



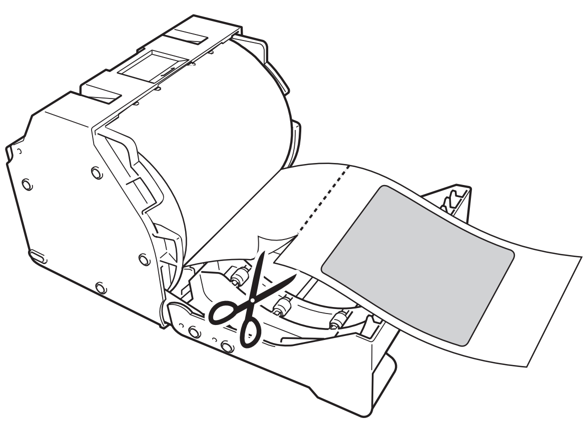
2UPC-C14　　2UPC-C13/C15

9 メッセージのOKボタンにタッチする。

クリーニングが開始されます。プリント紙が排紙口から出入りし、内部のゴミや汚れを取り除きます。
クリーニングが終了すると、プリント紙が数回カットされます。

ご注意

クリーニングが終了した後、クリーニングシートがすべて排出されたことを確認してください。クリーニングシートが残っている場合は、ペーパーホルダーを取り出し、クリーニングシートを貼った個所をすべてカットしてください。



10 クリーニングカートリッジを取り出し、リボンカートリッジを挿入する。

ご注意

- クリーニングを行うにはプリント紙が必要です。プリント紙の残量が少ない場合は、エラーメッセージが表示されることがあります。プリント紙を交換して、クリーニングをやりなおしてください。
- クリーニングに使用したプリント紙は、自動的にカットされます。

付録

キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼって、汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布でから拭きしてください。
シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げを傷めることがありますので、使用しないでください。

ディスプレイが汚れたら

ディスプレイの汚れがひどいときは、水で湿らせた布をかたくしぼって拭くか、から拭きしてください。中性洗剤はディスプレイの表面を傷めることがありますので、使用しないでください。また、ディスプレイの表面を硬いものでこすったり、たたいたりしないでください

冷却ファン用のフィルターが汚れたら

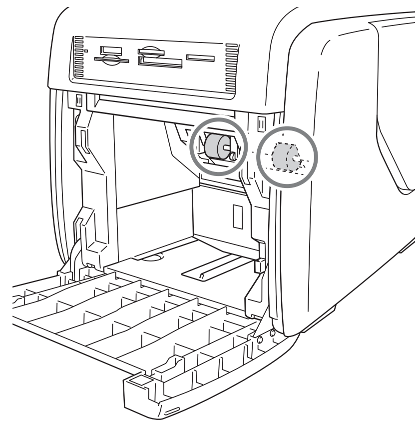
サーマルヘッド冷却ファン用のフィルターの汚れがひどいときは、フィルターをはずして水洗いし、ほこりを取り除いてください。フィルターの網をブラシなどでこすらないでください。

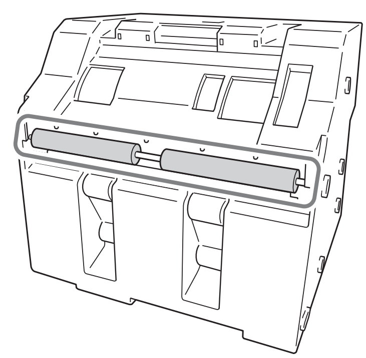
プリンターのローラーが汚れたら

プリンターのローラーが汚れたときは、アルコールを浸した柔らかい布を使って、ローラーを回しながら軽く拭いてください。

ご注意

プリンターのローラーをお手入れするときは、必ず、オン／スタンバイボタンでスタンバイ状態にして電源コードを抜いてください。





付録

故障かなと思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因／処置
プリント紙が取り付けられない。	ペーパーホルダーにアダプターが取り付けられている状態で、2UPC-C13、C15を取り付けようとしていませんか。 →アダプターを取りはずしてから、プリント紙を入れ直してください。（14ページ）
プリント紙を取り付けたのにプリント紙がないというメッセージが表示される。	プリント紙が正しく装着されていますか。 →正しく装着してください。（15ページ）
リボンカートリッジを取り付けたのに、リボンカートリッジがないというメッセージが表示される。	リボンカートリッジが正しく装着されていますか。 →正しく装着してください。（17ページ）
プリント紙がないというメッセージが表示されているのにプリント紙が余っている。	トラブルではありません。プリント紙は余分に巻いてあります。 →余ったプリント紙は取り出し、新しいリボンカートリッジとプリント紙を装着してください。（15ページ）
プリントのはじに余白ができる。	画像がずれている場合があります。 →プリント位置を調整してください。（28ページ）
画面が見えない、見えにくい。	操作部のディスプレイの角度によっては、画面が見えにくい場合があります。 →ディスプレイの角度を変えることができます。見やすい角度に調節してお使いください。（11ページ）

症状	原因／処置
画像データが読み込めない。	画像が記録されていないメモリーカードをセットしている場合があります。 →画像が記録されているメモリーカードをセットしてください。 本機で読み込めないフォーマットで、画像がメモリーカードに記録されていませんか。 →本機で読み込めるフォーマットの画像をご用意ください。（57ページ） メモリーカードが奥まで押し込まれていない可能性があります。 →メモリーカードを奥まで押し込んでください。（34ページ） メモリーカードが正しい方向にセットされていない可能性があります。 →操作画面に表示されている方向にメモリーカードをセットしてください。

ご使用になれるリボンカートリッジとプリント紙について

リボンカートリッジとプリント紙は、必ず同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

ラミネートカラープリントパック 2UPC-C13 シリーズ

カラーのリボンカートリッジとプリント紙が入っています。
　プリント用リボンカートリッジ 2 個
　L サイズ用プリント紙 2 巻

ラミネートカラープリントパック 2UPC-C14 シリーズ

カラーのリボンカートリッジとプリント紙が入っています。
　プリント用リボンカートリッジ 2 個
　はがきサイズ（KG）用プリント紙 2 巻

ラミネートカラープリントパック 2UPC-C15 シリーズ

カラーのリボンカートリッジとプリント紙が入っています。
　プリント用リボンカートリッジ 2 個
　2L サイズ用プリント紙 2 巻

印画可能枚数について

印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。また、プリントパックにはリボンカートリッジが 2 個、プリント紙が 2 巻入っています。リボンカートリッジ 1 個とプリント紙 1 巻のセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリントパック	2UPC-C13	2UPC-C14	2UPC-C15
印画枚数	300	200	172
印画サイズ	89 × 126 mm (± 2 mm)	101 × 152 mm (± 2 mm)	126 × 178 mm (± 2 mm)

ご注意

- リボンカートリッジやプリント紙を途中で交換しないでください。途中で交換した場合、上記の印画可能枚数が減少することがあります。
- 必ず専用のプリントパックをお使いください。

仕様

電源　AC 100 V 50/60 Hz
消費電流　3.0 A
動作温度　5°C ～ 35°C
動作湿度　20% ～ 80%（結露なきこと）
最大外形寸法　約 275 × 300 × 380 mm
　（最大突起含まず）
　（幅／高さ／奥行き）
質量　約 11 kg（本体のみ）
プリント方式　昇華熱転写方式
解像度　300 dpi
プリント階調　YMC 各色 8 ビット（256 階調処理）
最大プリントサイズ
　2UPC-C13：89 × 126 mm ± 2 mm
　（L サイズ）
　2UPC-C14：101 × 152 mm ± 2 mm
　（KG（はがき）サイズ）
　2UPC-C15：126 × 178 mm ± 2 mm
　（2L サイズ）
転送画素数　2UPC-C13：1,100 × 1,536 ドット
　2UPC-C14：1,248 × 1,848 ドット
　2UPC-C15：1,536 × 2,148 ドット
　（ただし、左右上下各およそ 2 mm はプリントされません）
プリント時間　2UPC-C13：約 13 秒
　2UPC-C14：約 16 秒
　2UPC-C15：約 17 秒
入力端子　AC IN（電源入力用）
制御端子　RS-232C（外部制御用、D-Sub 9 ピン）(1)
USB ポート（デバイス）
　Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）
USB ポート（ホスト）
　USB フラッシュメモリー用
メモリーカードスロット
　“メモリースティック”用 (1)
　SD カード用 (1)
　コンパクトフラッシュ用 (2)
　（1 か所は拡張用スロットで、サイドドアの内側にあります）
　スマートメディア用 (1)
　xD- ピクチャーカード用 (1)

対応画像フォーマット
JPEG: JFIF 4:4:4, 4:2:2, 4:2:0（ベースライン JPEG）
Exif 2.2.1 準拠
DCF 2.0 準拠
TIFF: Exif 2.2.1 準拠（RGB 非圧縮）
BMP: 24 ビット Windows 形式
（各フォーマットのバージョンによっては、対応していないことがあります）

最大ピクセル数 JPEG: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセル
TIFF: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセル
BMP: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセル

最大ファイル数 各メディア 9999 ファイル

液晶ディスプレイ
8 インチ TFT カラー液晶タッチスクリーンディスプレイ
640 × 480 ドット、RGB

付属品 ペーパートレイ（1）
ペーパーホルダー（1）
アダプター（左右各 1）
ペーパーコア（1）
電源コード（1）
クリーニングカートリッジ（1）
3 極→2 極変換プラグ（1）
フェライトコア（1）
CD-ROM（1）
ソフトウェアライセンス契約書（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）

別売り品

使用リボンカートリッジ／プリント紙
ラミネートカラープリントパック
2UPC-C13
2UPC-C14
2UPC-C15

Bluetooth USB アダプター
DPPA-BT1 [1) 2)]

1）ご使用の国・地域によっては、販売しておりません。お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

2）本機の Bluetooth 通信機能は DPPA-BT1 との組み合わせでのみ使用することができます。他の Bluetooth USB アダプターはご使用になれません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウエア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください

- 型名：UP-CR10L
- 故障の内容：できるだけ詳しく
- 購入年月日

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/